

行橋市公共施設等総合管理計画



平成29年3月

行 橋 市

目 次

序 章

まんが版行橋市公共施設等総合管理計画

本 編

第1章 公共施設等総合管理計画策定の趣旨..... 1

1	基本理念	1
2	背景.....	1
3	目的.....	1
4	計画の対象.....	2
5	計画の位置づけ	2
6	計画の期間.....	3
7	取組体制	3

第2章 行橋市の現状

4

1	人口について.....	4
1.1	総人口.....	4
1.2	人口構造について	5
2	財政について.....	6
2.1	歳入（普通会計決算）について	6
2.2	歳出（普通会計決算）について	8
2.3	基金と市債について	10
3	公共施設等について	12
3.1	公共建築物の保有状況	12
3.2	インフラ資産の保有状況.....	16
3.3	更新費用の推計.....	19
4	市民アンケートの結果.....	21
4.1	アンケートの概要	21
4.2	公共建築物の今後の方向性について（アンケート問 16、17）	21
4.3	土木インフラ施設の今後の方向性について（アンケート問 21）	22

第3章 公共施設等の管理に関する基本的な方針 23

1	基本方針	23
2	数値目標	24
2.1	公共建築物について	24
2.2	インフラ資産について	24
3	実施方針	25
3.1	庁内横断的な取組体制の構築	25
3.2	最適配置の推進	26
3.3	長寿命化	27
3.4	官民連携	27
3.5	広域連携	28

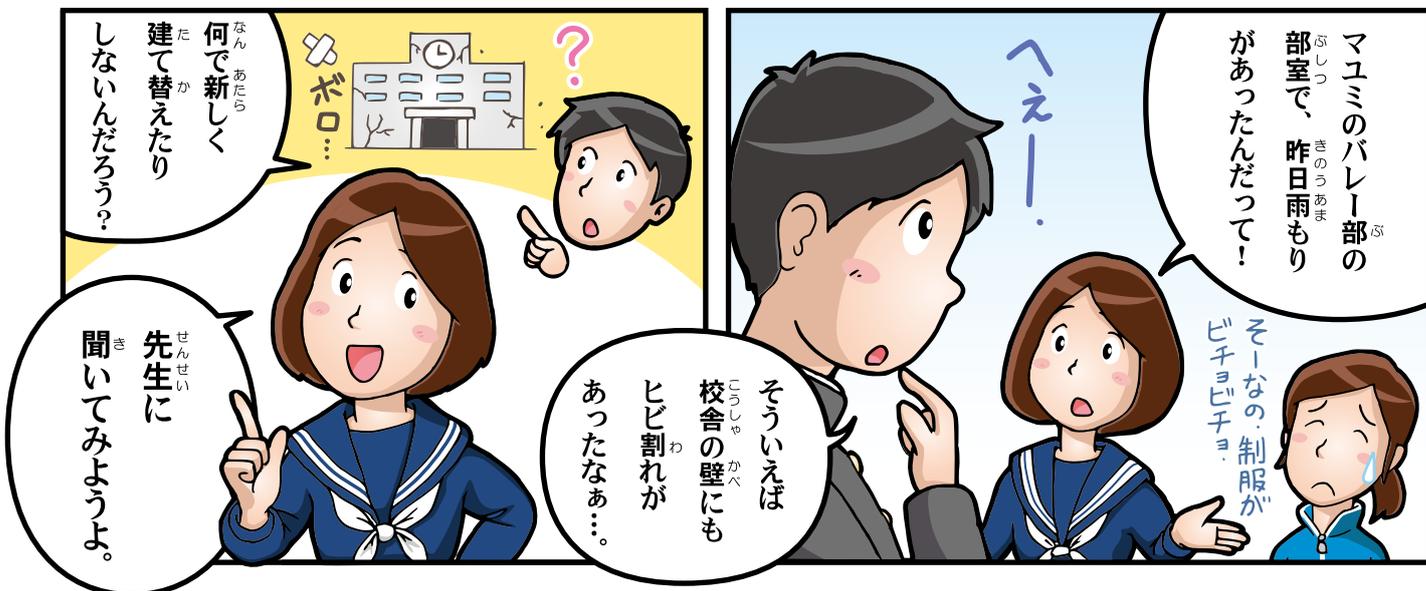
第4章 巻末資料..... 29

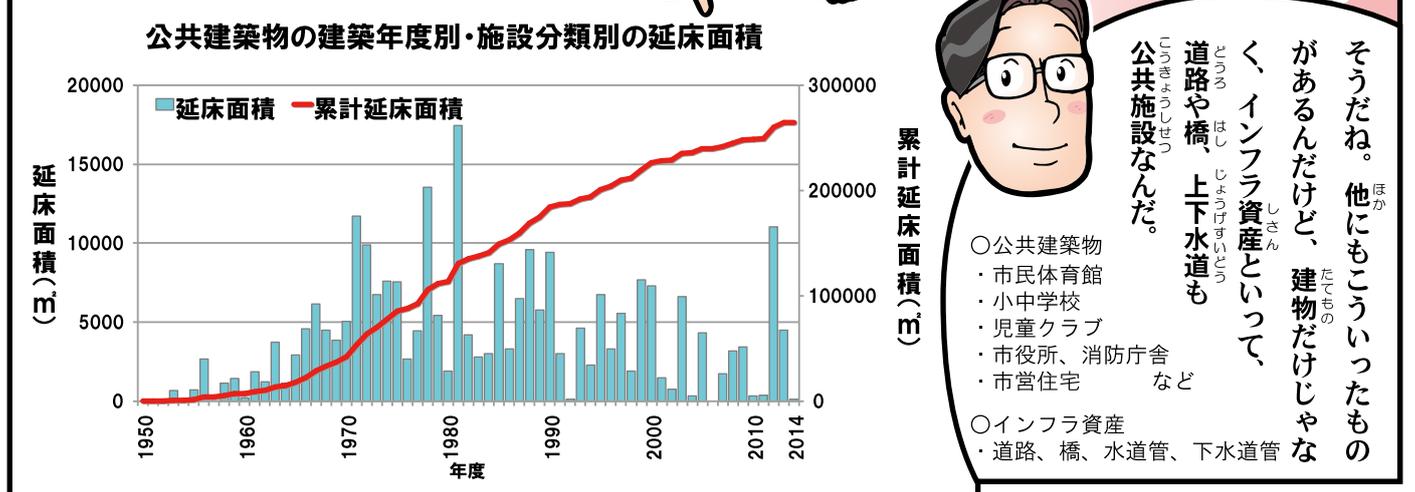
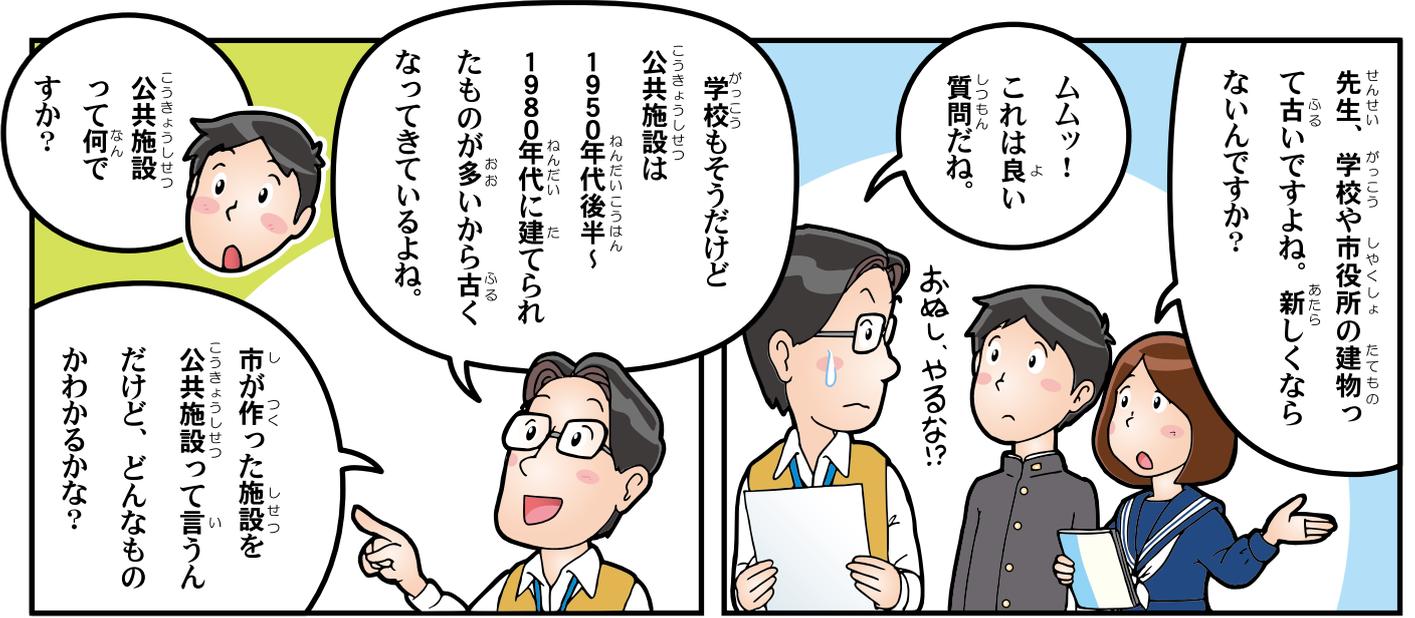
1	公共施設等一覧	29
1.1	公共建築物	29
1.2	インフラ資産	33
2	更新費用の推計方法	50

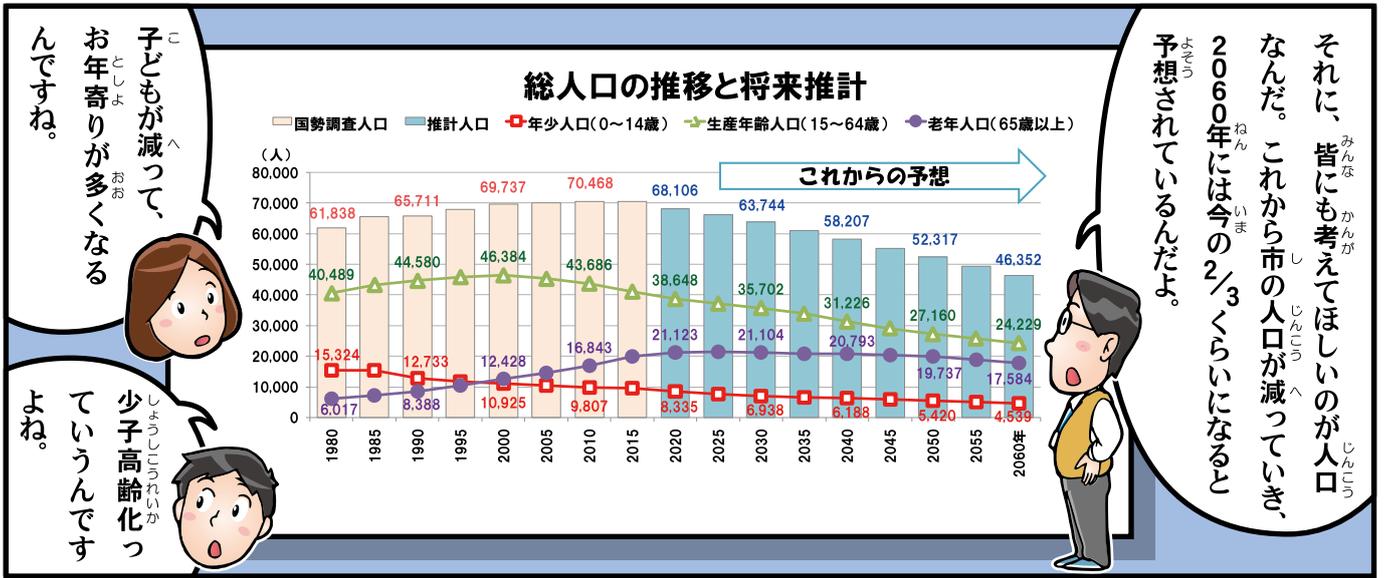
序 章

ゆくはししこうきょうしせつとうそうごうかんりけいかく 行橋市公共施設等総合管理計画

選択と集中 ~持続可能な公共サービスの提供に向けて~







子どもが減って、お年寄りが多くなるんですね。

少子高齢化っていうんですね。

それに、皆にも考えてほしいのが人口なんだ。これから市の人口が減っていく、2060年には今の2/3くらいになると予想されているんだよ。

一方、市の公共施設をすべて新しくしていくと、今後40年間の平均で毎年72億円かかるんだ。これは今までの2倍以上なんだよ。

公共施設
福祉

現在 → 将来

市の人口が減ると市の収入が減るんだ。さらに少子高齢化による社会保障費の増大が予想され、公共施設に使えるお金が減っていくんだ。

うわーこんなに...

ホクワタもな おしめてくれ!!

そうだね。市にも借金にあたる市債、国からお金を出してもらおう補助金やお金を積み立てる基金という制度があるんだ。

市 国

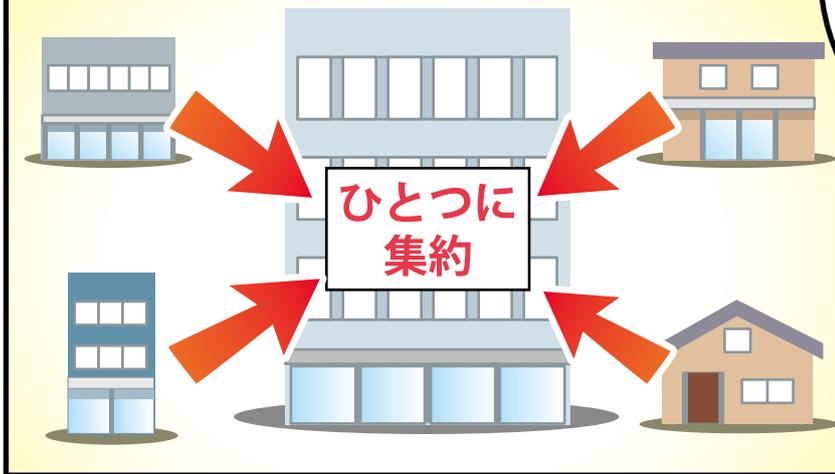
いいものつくります。

みんな買いたいものがあるのに、お金が足りない時はどうするっ...

お母さんにお金を借りたり、貯金をするかな。



施設の複合化



利用していない施設をなくし、必要な施設を増やさなきゃ。

近くにある施設どうしを一つにまとめて効率よく利用するのはどうかしら。



官民連携

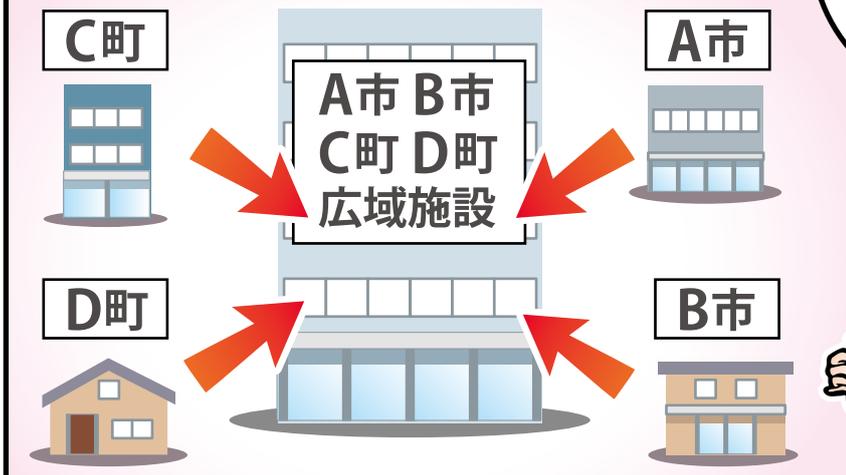


近くのスポーツクラブを安く使わせてもらえないかな？

市のスポーツ施設は古くなっているものね。



広域連携



あとは…隣の市や町の施設もいっしょにしちゃえば!?

市で一つの施設を持つているより、費用の負担が少なくなるわ!



君たちよく考えたね！
市では計画を立てて
この問題に取り組んで
いるんだよ。

このごとき
資料があるよ。

市には「公共施設等
総合管理計画」という
計画があるんだ。
大きく2つの基本方針
に従って今後40年間で
建物の延床面積を
約30%削減することを
目標にしているんだよ。

基本方針

- 公共建築物について
選択と集中により、必要なものは新設するが、
全体の総量は削減する。
- インフラ資産について
長寿命化と効率的な維持管理に努める。

スゴイ！

だけど、
あまり使われなくな
った施設は、
どうしても必要なも
のを残して量を減ら
していくことなんだ。

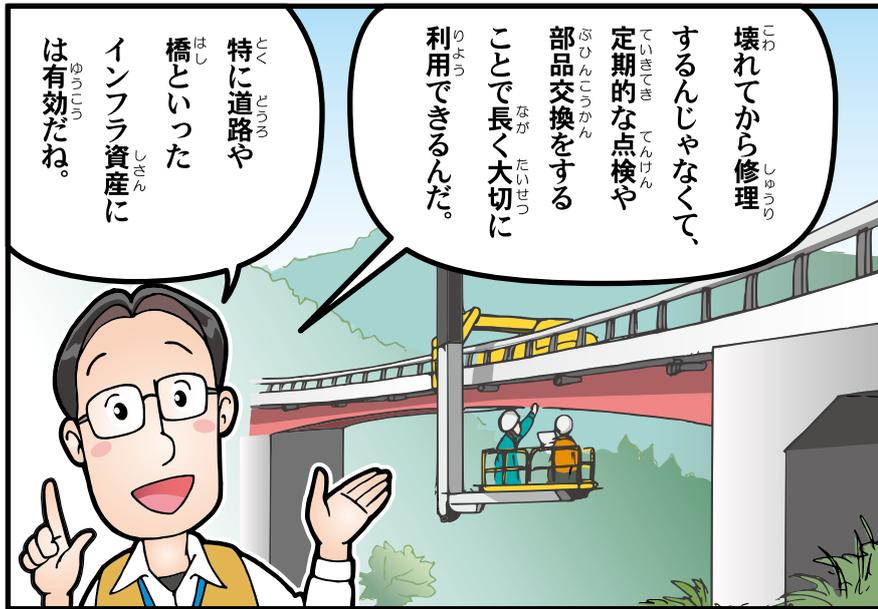
これからは、多くの
人に使ってもらえ、
街に活気があふれる
ような施設を作って
いくんだ。

あの、「選択と集中」
ってどうゆうこと
ですか？

まずは、これまで
施設の方針はそれ
を管理する部署が
決めていたけど、
これからは部署間
の垣根を取り去って、
どうしたら市民の
ニーズに応えられ
るかをいっしょに
考えていくようだね。

わたしが考えた取り組
みの他に、市では具
体的にどんなことを
するんですか？

市民の
ニーズ





本 編

第1章 公共施設等総合管理計画策定の趣旨

1 基本理念

本計画は、行橋市の持続可能なまちづくりのため、公共建築物や道路、橋りょう、上下水道等のインフラ資産を含む公共施設等（以下「公共施設等」という。）について、人口減少社会における将来の施設利用の需要や財政状況を踏まえて、計画的な更新・整備を推進することを基本理念とします。

2 背景

本市においては、人口増加や経済成長に伴う市民ニーズに対応して、道路や学校、公園等の公共施設等の整備を進めてきました。

こうした公共施設等の多くは 1970～80 年代に集中的に整備されており、今後、老朽化に伴う建て替えや大規模修繕等の更新時期が集中して訪れます。

公共施設等の更新のためには多額の経費が必要となる一方で、人口減少・少子高齢化の進行により、市の財政状況は厳しさが増すと予想されています。

また、公共施設等を整備したときから社会状況も変化しており、現在そして将来の市民ニーズに対応していくことも必要となります。

これらは本市のみならず全国的に直面している課題であり、2014（平成 26）年には、国から全自治体に対して、公共施設等総合管理計画の策定に取り組むよう、要請がなされています。（総務省 2014（平成 26）年 4 月「公共施設等の総合的かつ計画的な管理の推進について」）

これらのことから、市では公共施設等の全体について現状を把握し、中長期的な視点から計画的に公共施設等の更新や維持管理を進める必要があると考えています。

3 目的

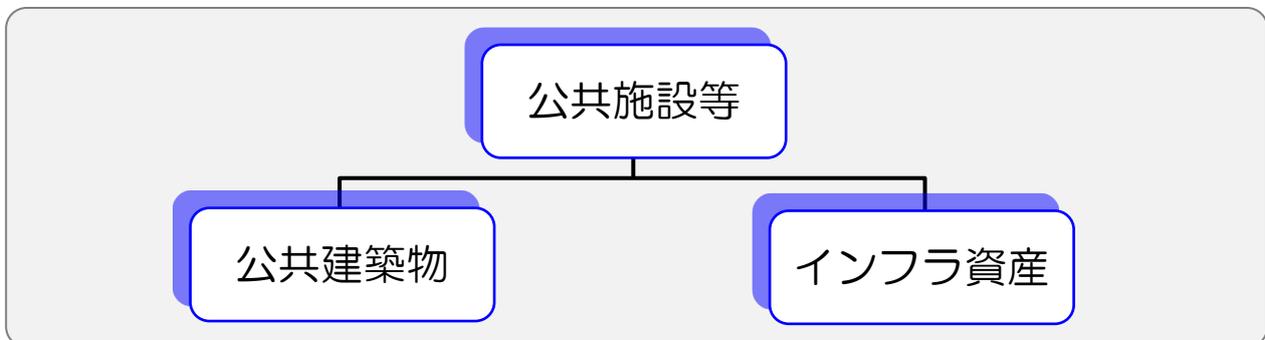
本計画は、前述の背景を踏まえ、公共施設等のマネジメント¹を進める指針を策定するもので、その主な目的は次の3点です。

- ①長期的な視点に立った老朽化対策の推進
- ②将来の利用需要を踏まえた適切な施設配置・規模の設定
- ③更新費用や維持管理費用等の削減・平準化

¹ 公共施設等のマネジメント：公共施設等の実態をハード・ソフトの両面から総合的に把握し、財政運営と連動しながら管理・活用をはかること

4 計画の対象

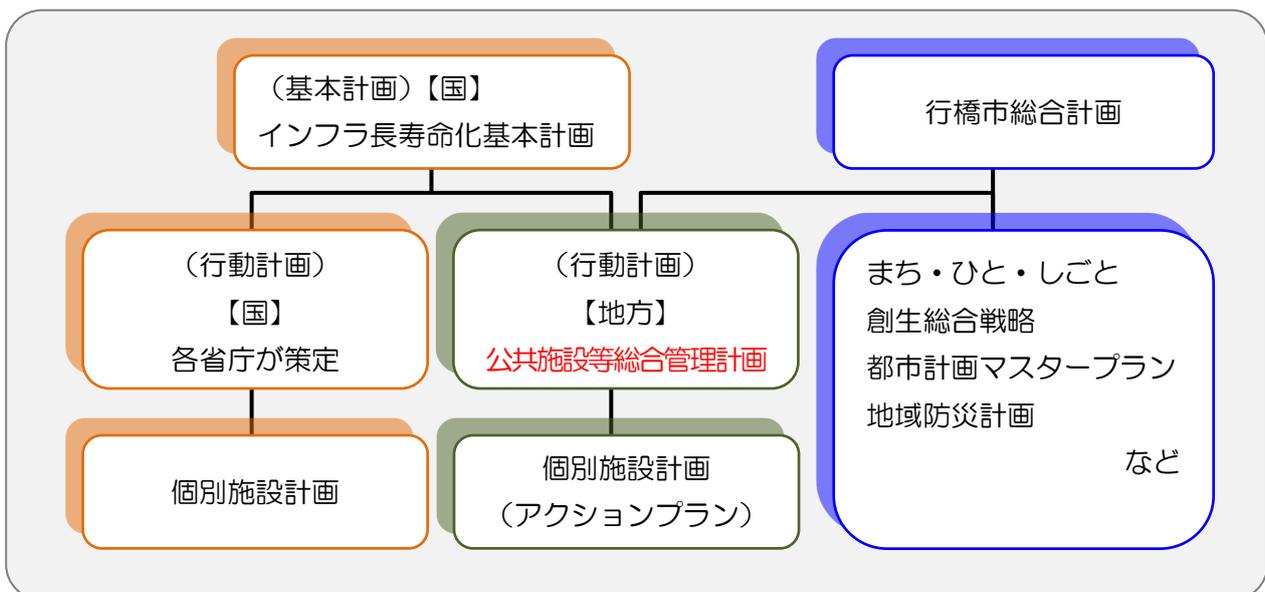
本市の保有する全ての公共建築物及びインフラ資産を計画の対象とします。
インフラ資産とは、道路や橋りょう、上下水道などをいいます。



5 計画の位置づけ

本計画は、国の「インフラ長寿命化基本計画」（2013（平成25）年11月策定）の地方版行動計画であり、今後定める個別施設ごとの更新・修繕・維持管理計画等を定める「個別施設計画」の指針となるものです。

また、行橋市の基本構想等を定める「行橋市総合計画」を下支えするものでもあり、同じく総合計画に基づいて策定された「行橋市都市計画マスタープラン」等の分野別計画との整合性を図り、まちづくりに関係する総合的な視点を踏まえて本計画を推進します。



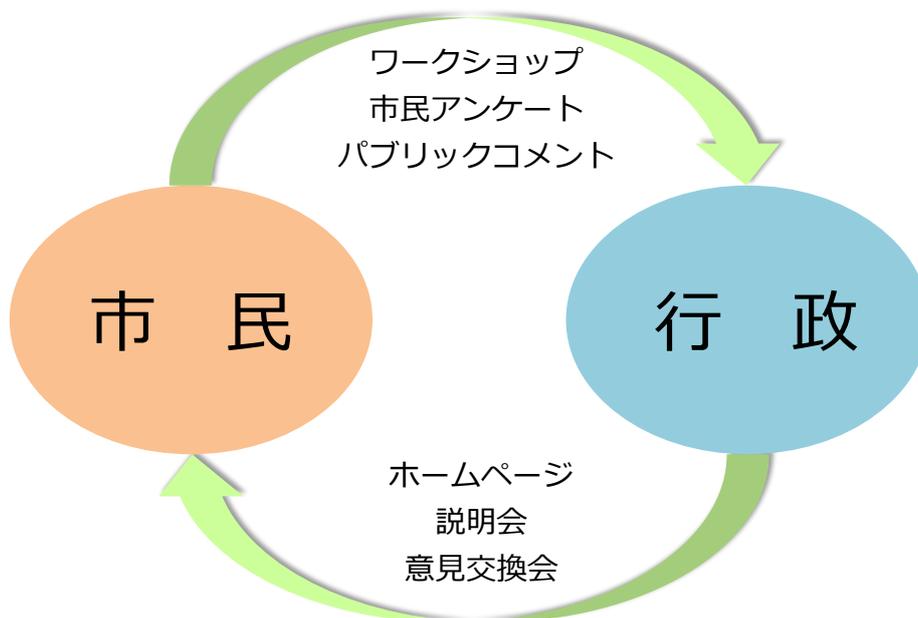
6 計画の期間

計画期間は、2017（平成29）年度から2056（平成68）年度までの40年間とします。
 計画期間中、5年ごとに中期的な状況のモニタリングを行うとともに、総合計画等の上位計画類の改訂に合わせた、概ね10年ごとの定期的な見直しを行います。
 また、公共施設等の総量や将来見通しの分析の前提条件に大きな変更が生じた際には、必要に応じて内容の見直しを行います。

	2017-26年度	27-36年度	37-46年度	47-56年度	57年度以降
総合計画 (10年ごとに改訂)	→ (改訂)				
公共施設等総合管理計画 (2017-2056年度まで 40年間の計画期間) (5年ごとにモニタリング) (10年ごとに見直し)	策定	定期見直し	定期見直し	定期見直し	定期見直し
	前提条件の大幅な変更に合わせて、必要に応じて見直し				

7 取組体制

本計画を推進するためには、市民と一緒に取り組んでいくことが必要不可欠です。
 このため、市ホームページ等での情報発信や市民アンケート、説明会や意見交換会、パブリックコメント等により、市民意見の聴取や情報共有に努めます。
 また、庁内においても全庁横断的な取組みを進めます。



第2章 行橋市の現状

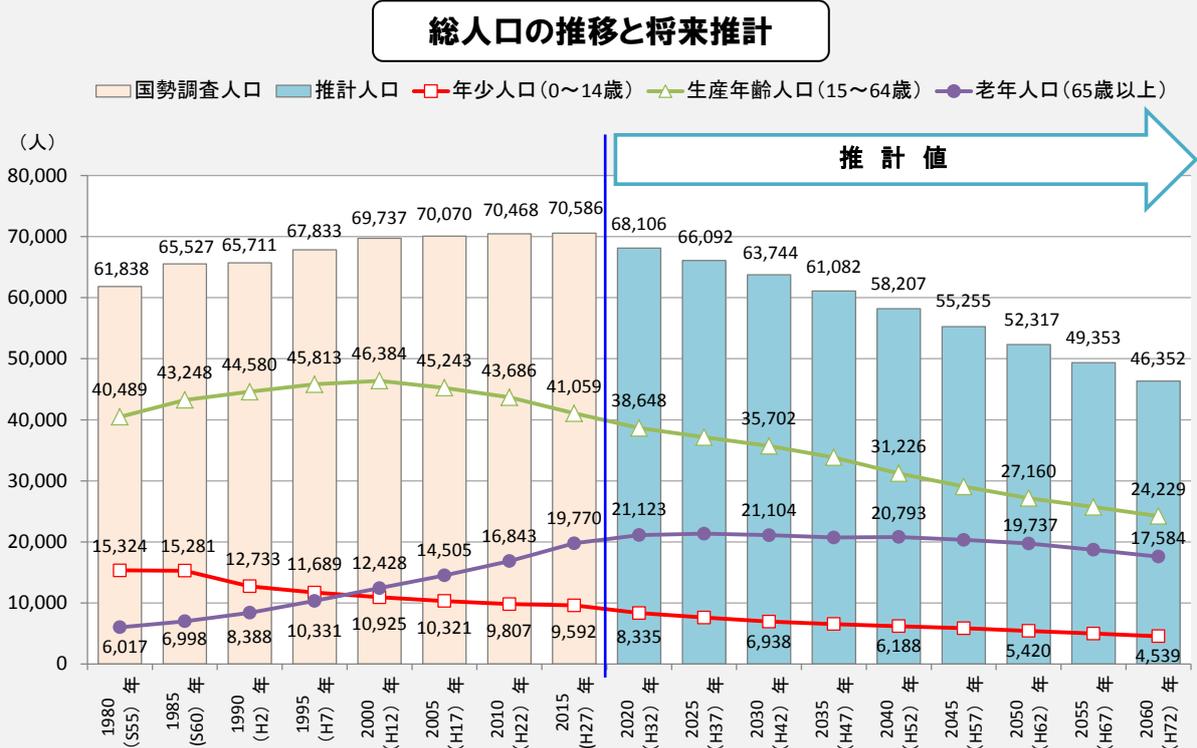
1 人口について

1.1 総人口

本市は、1954（昭和29）年に発足して以降、1970（昭和45）年まで、目立った人口変化は見られませんでした。1970年代から1980年代にかけて北九州市のベッドタウンとして急速に人口が増加しました。その後も人口増加は続き、2005（平成17）年には7万人に達し、近隣自治体の人口が減少する中においても本市の人口は微増を続けてきました。

こうした中、本市としては「行橋市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を2015（平成27）年度に策定し、人口減少問題に取り組んでいるところです。この成果もあり、2016（平成28）年12月には、過去最多となる人口72,888人（※住民基本台帳による）を記録しました。

しかし一方で、国立社会保障人口問題研究所（以下、社人研）の人口推計によれば、今後減少局面に入り、2040（平成52）年には、約58,200人（現在から約17%減少）、2060（平成72）年には、約46,400人（現在から約34%減少）になることが予想されています。



注1. 1980～2015年：国勢調査（各年10月1日現在）

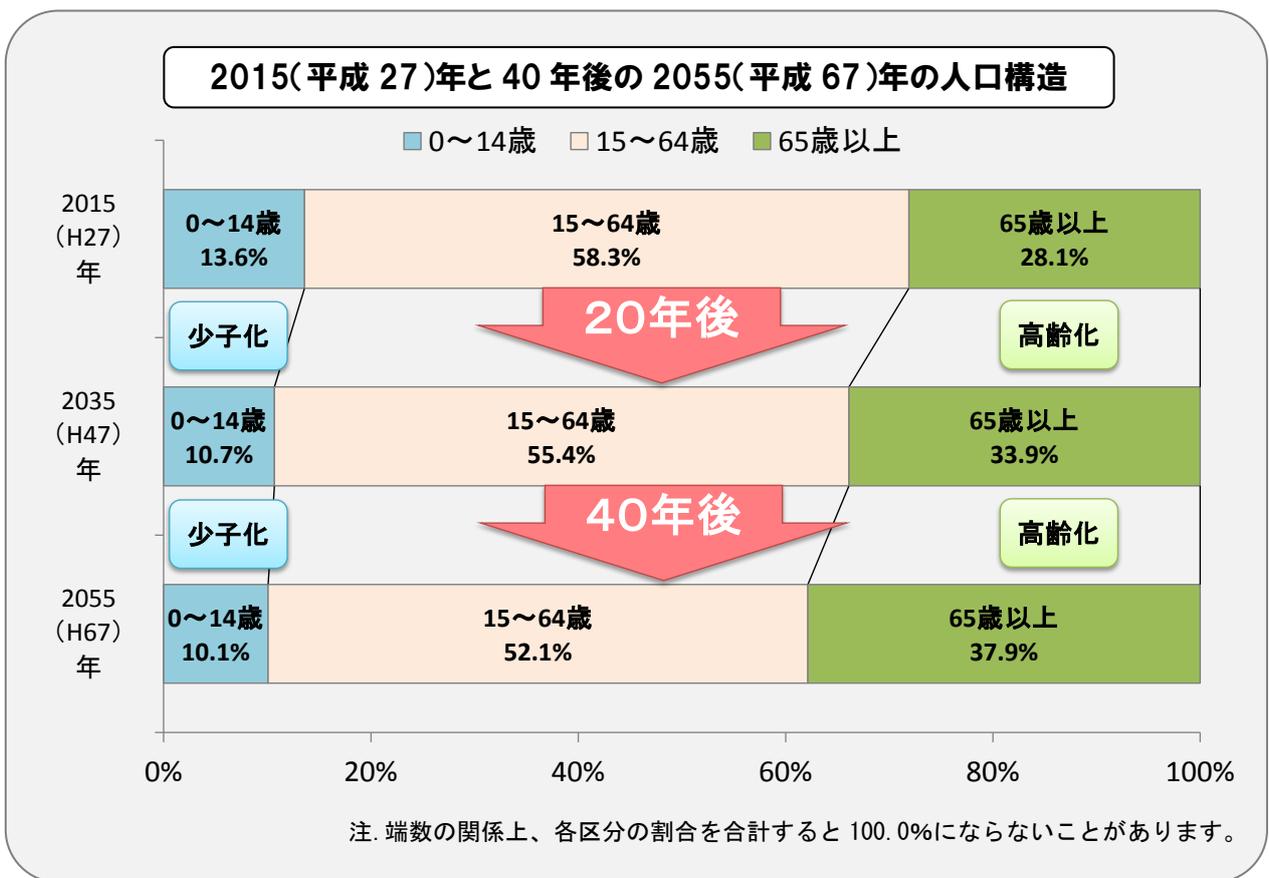
注2. 2020年以降：社人研の推計に基づき作成

注3. 総人口には「年齢不詳」の人口を含む。

1.2 人口構造について

本市の人口を年少人口（0～14歳）・生産年齢人口（15～64歳）・老年人口（65歳～）の年齢三区分でみると、2015（平成27）年を起点とした20年後の2035（平成47）年には、老年人口の比率が約6ポイント増加し、約34%となり、市民の約3人に1人が65歳以上となります。40年後の2055（平成67）年には2015（平成27）年から約10ポイント増加し、約38%となり、さらに高齢化が進みます。

一方で、年少人口の比率が40年後には、現在よりも約4ポイント減少して約10%となり、さらに生産年齢人口が約6ポイント減少して約52%となります。



2 財政について

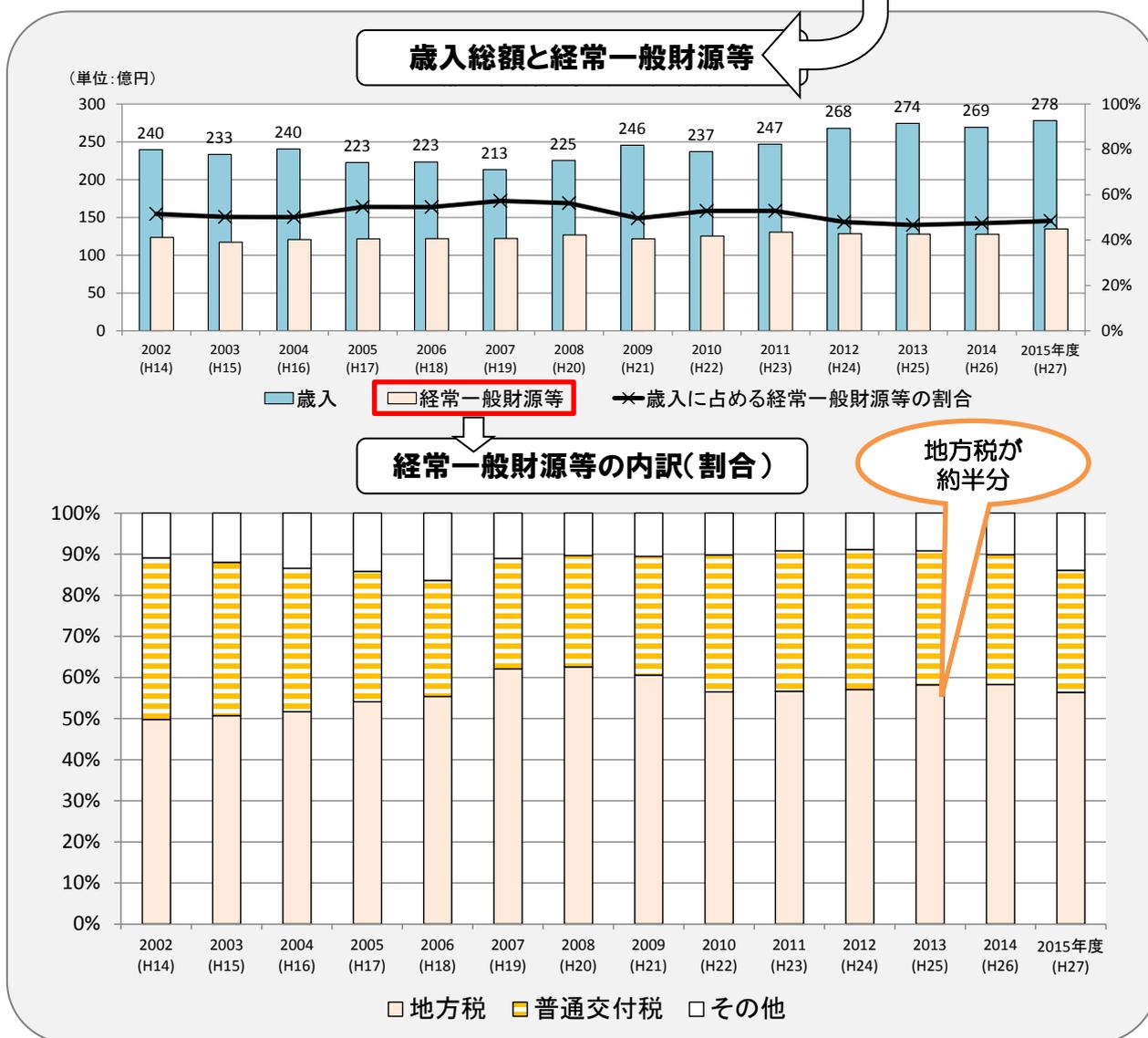
2.1 歳入（普通会計決算）について

(1) 歳入総額

歳入（市の収入）の総額は、ここ数年増加傾向にあります。

これに対して、経常一般財源等も微増していますが、歳入額の伸び率ほどではないため、歳入総額に占める割合は微減となっています。

経常一般財源等とは、毎年定期的に入ってくる歳入で、あらかじめ用途の決まっていないもののことをいい、財政の自由度を計る際の指針となります。

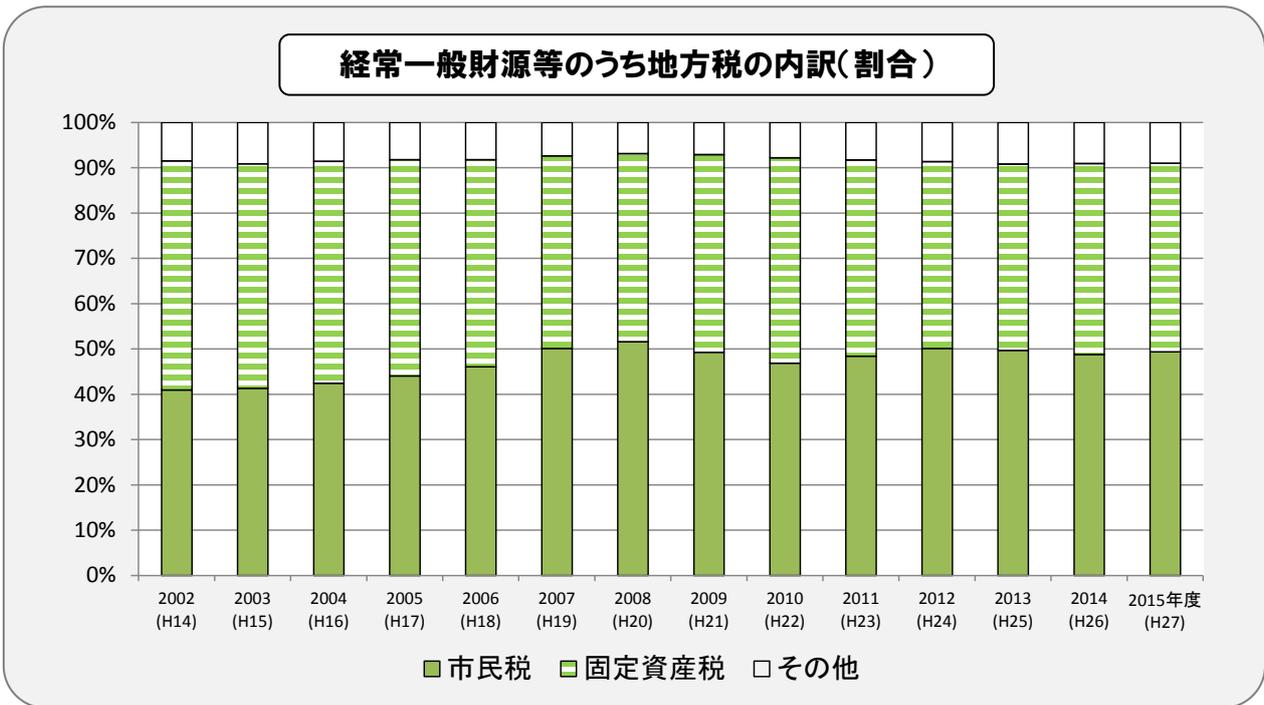


経常一般財源等は主に地方税と普通交付税からなり、地方税が約 50%、普通交付税が約 40%を占めています。地方税とは、地方自治体が課すことのできる税金をいいます。

普通交付税とは、地方自治体ごとの財源の不均衡を調整するために国から交付される歳入のことをいいます。用途は定められておらず、各地方自治体が自由に使えます。

(2) 地方税

経常一般財源等の約50%を占める地方税は、主に市民税と固定資産税からなっています。
市民税とは、市内に住む方（法人を含みます）に課される税金で、均等に課される均等割額と所得（法人税額）に応じて課される額との合計額です。
固定資産税とは、市内に固定資産（土地、家屋など）を所有する方に対して課される税金で、税額の算定には地価などが影響します。



人口が増えている場合、住民が増えるので市民税収入が増加します。また、人口増加に伴い開発等が進めば、固定資産税収入も増加します。
 一方で、人口が減っていくと、市民税、固定資産税ともに税収が減少します。

(3) 歳入についてのまとめ

歳入については、今後の人口減少により
地方税収入が減少していくことが予想されます

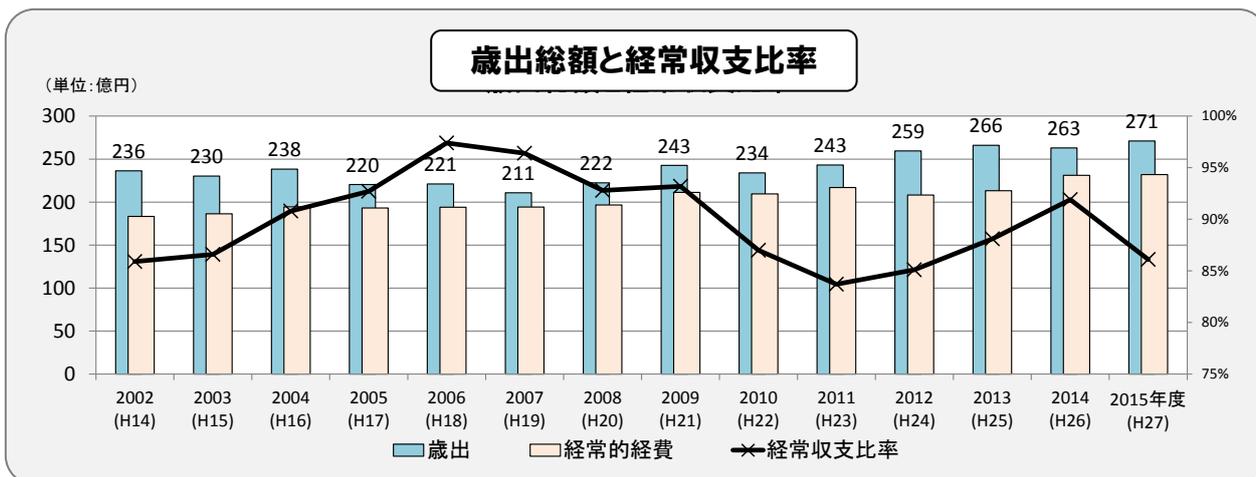
2.2 歳出（普通会計決算）について

(1) 歳出総額

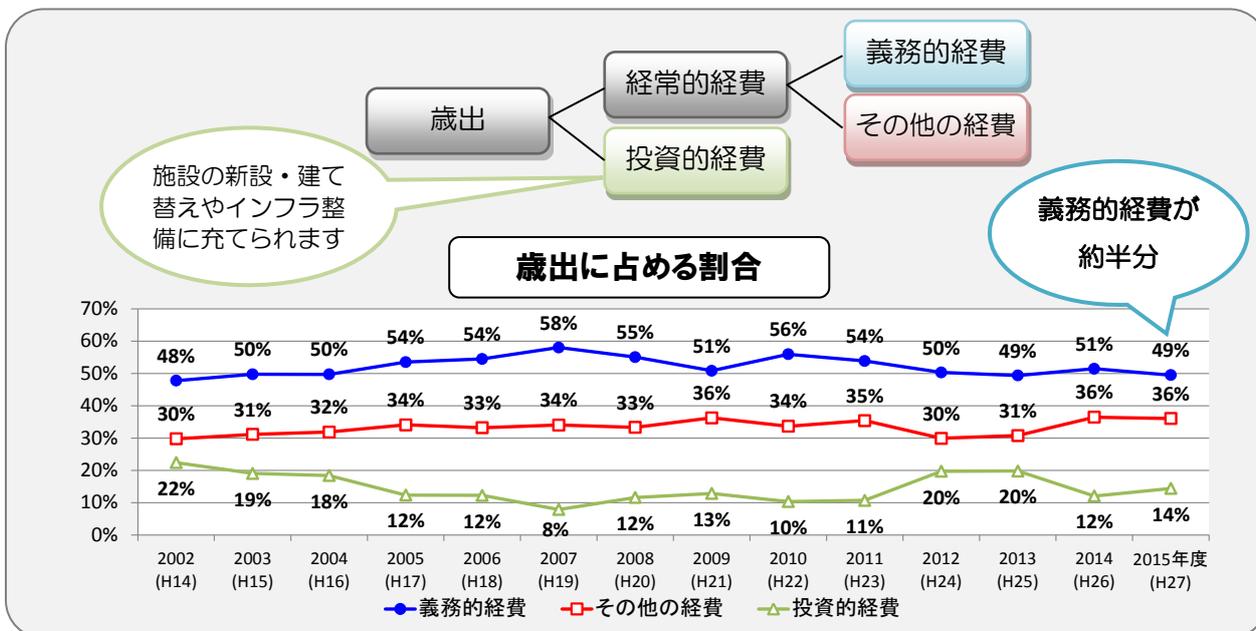
歳出（市の支出）の総額についても、近年増加傾向にあります。

財政の弾力性についての指標である経常収支比率²は、2011（平成23）年度から増加していますが、2015（平成27）年度には減少し、86.1%となっています。

経常収支比率が大きいほど、財政の自由度が低く、政策的な事業を行う余裕がないことを示します。



毎年経常的に支出されるものを経常的経費といい、それ以外を投資的経費³といいます。経常的経費はさらに義務的経費⁴とその他の経費⁵に分けることができます。義務的経費がおおよそ50%程度を占めています。



² 経常収支比率：経常一般財源等（毎年定期的な収入で自由に使えるもの）に対する、経常経費充当一般財源等（毎年経常的に支出される経費に充てた経常一般財源等）の割合

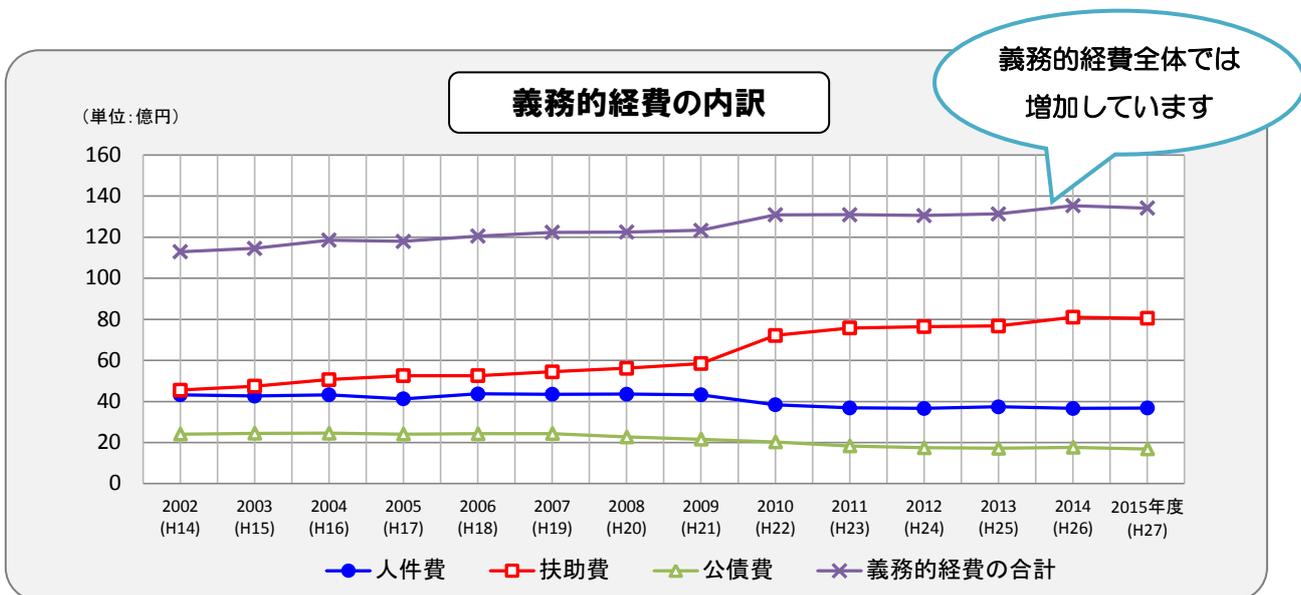
³ 投資的経費：道路、橋りょう、学校など各種社会資本の整備に必要な経費のように、支出の効果が資本形成として現れる経費

⁴ 義務的経費：支出が義務づけられている経費。人件費、扶助費、公債費

⁵ その他の経費：経常的経費のうち、義務的経費以外のもの。物件費や維持補修費、繰出金など

(2) 義務的経費

義務的経費（人件費、扶助費、公債費）の内訳は、次のとおりです。



人件費と公債費が減少してきているのに対し、扶助費が増えてきています。扶助費の増加は老年人口の増加によるものと思われ、その増加が人件費・公債費の減少よりも大きいため、義務費全体では増加傾向にあります。

歳出で大きな比率を占める扶助費は、今後の人口減少社会における少子高齢化の進行により、さらに増加するものと思われます。この影響により、義務的経費が増加し、投資的経費やその他の経費が減少する傾向が予想されます。

(3) 歳出についてのまとめ

歳出については、今後の人口減少の影響により

投資的経費が抑制されること

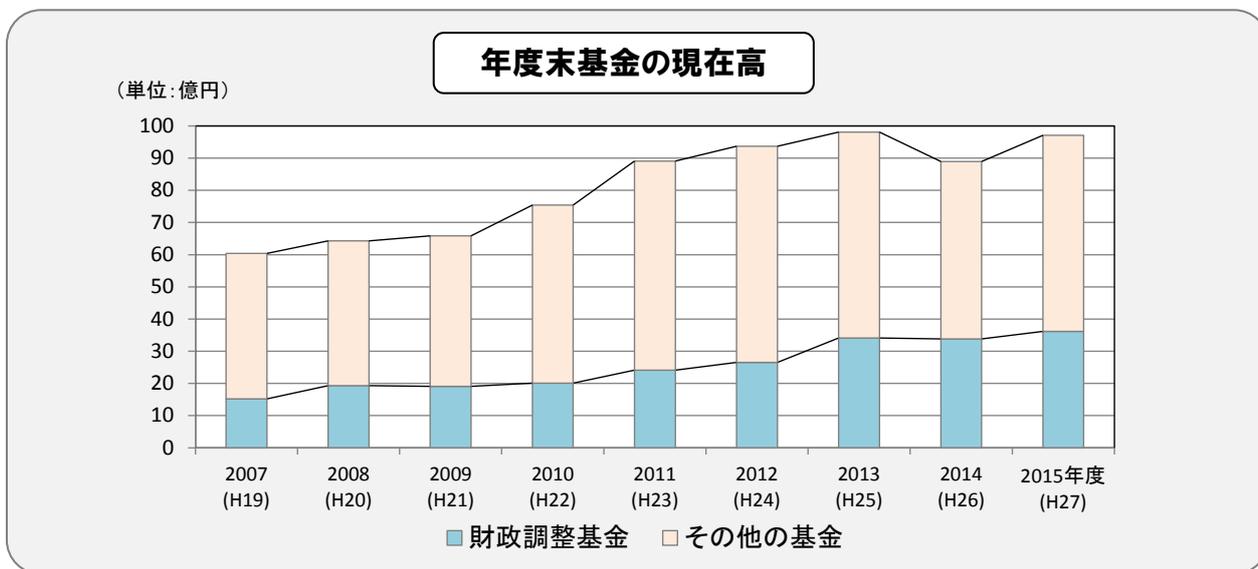
が予想されます

2.3 基金と市債について

(1) 基金

基金とは、各種事業の経費に充てるための積立金のことです。

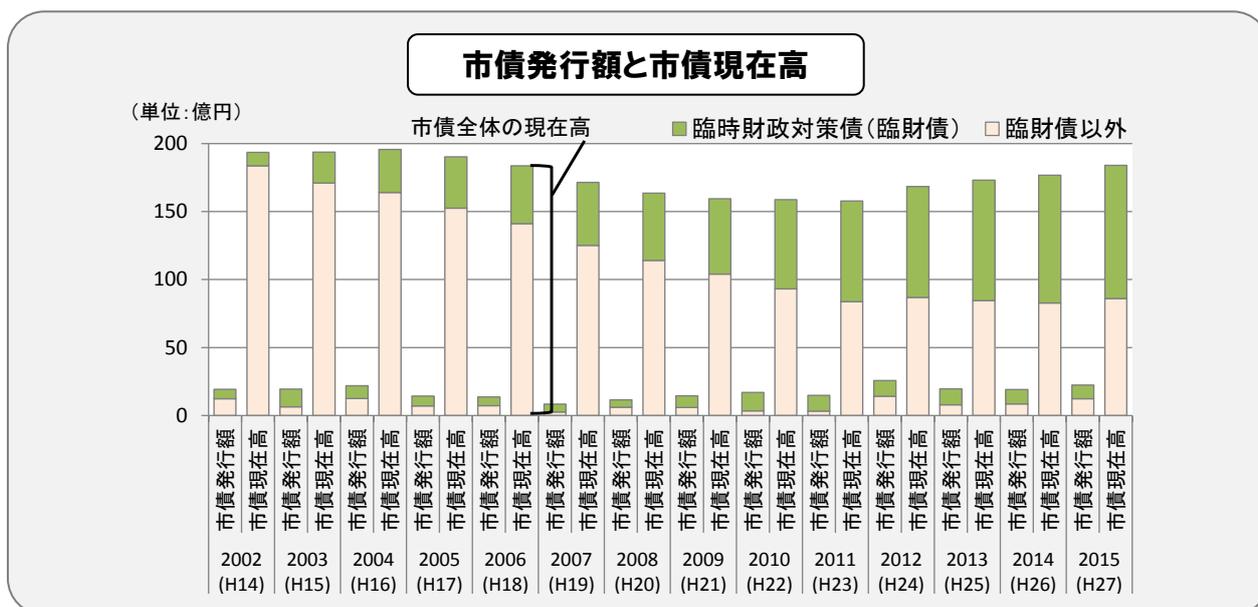
基金には、財源不足のときに備えた積み立てで、用途が定まっていない「財政調整基金」のほか、用途の定まった基金として「減債基金」や「特定目的基金」などがあります。



(2) 市債

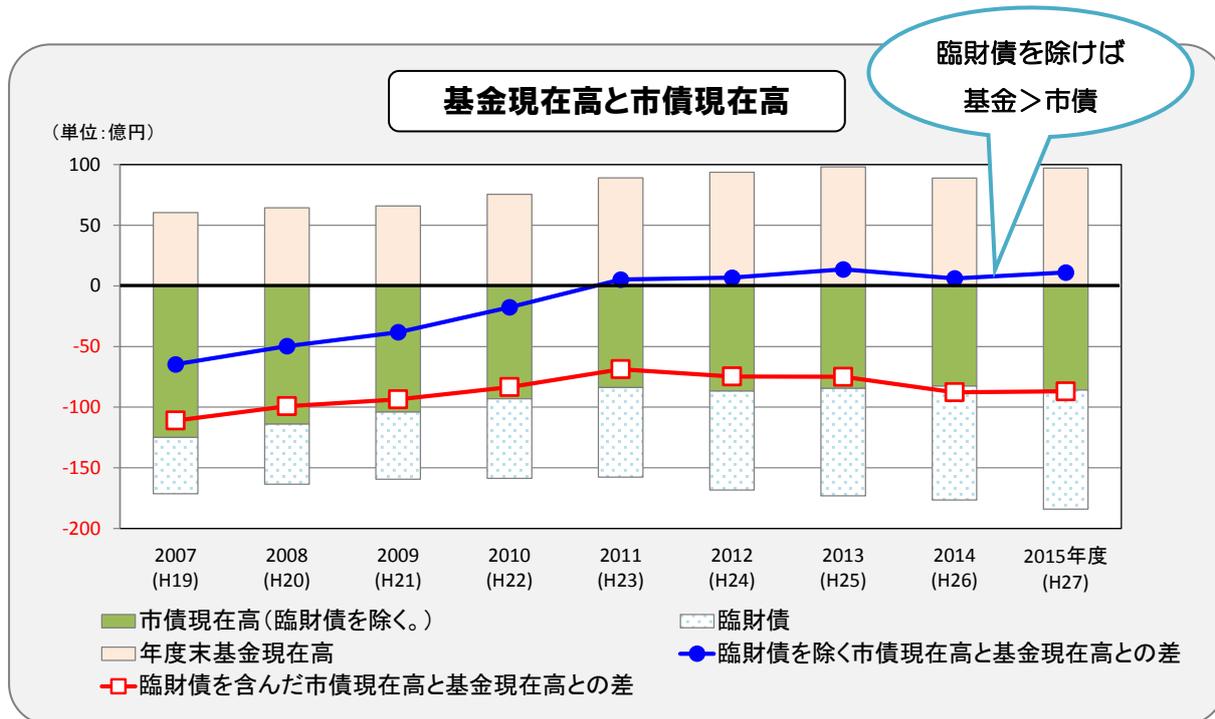
市債とは、学校を建設する場合など、将来世代にも受益性がある多額の費用を必要とする事業のために、国や金融機関から調達する長期的な借入金のことです。市債には年度ごとの負担を平準化させる機能と、世代間での負担の公平性を確保する機能とがあります。

市債全体としては 200 億円弱で推移していますが、臨時財政対策債⁶以外の市債は減少傾向にあります。



⁶ 臨時財政対策債：地方一般財源の不足を補うために特例として発行される地方債。必要に応じて地方公共団体が発行し、償還費用は普通交付税の基準財政需要額に算入され全額国が負担する。

(3) 基金と市債のまとめ



財政のプラスの要素である「基金現在高」からマイナスの要素である「市債現在高」を引くと、約 100 億円のマイナスになります。

一方で、市債現在高のうち臨時財政対策債を除いた額と基金現在高との差をみると、ここ数年でプラスに転じています。このことから、臨時財政対策債分がマイナスになっていることがわかります。

臨時財政対策債は自治体が財政の不足を補うために発行する地方債です。臨時財政対策債の償還義務は発行自治体にありますが、償還費用は普通交付税として全額、国が負担することとなっています。このため、実質的な負担についてみると、金額面ではプラス（基金）とマイナス（市債）はほぼ均衡しているといえます。

今後の人口減少により地方税収入が減少していくことが予想される中で健全財政を維持するためには、基金と市債のバランスをより一層注視し、事業については更なる「選択と集中」が求められると考えます。

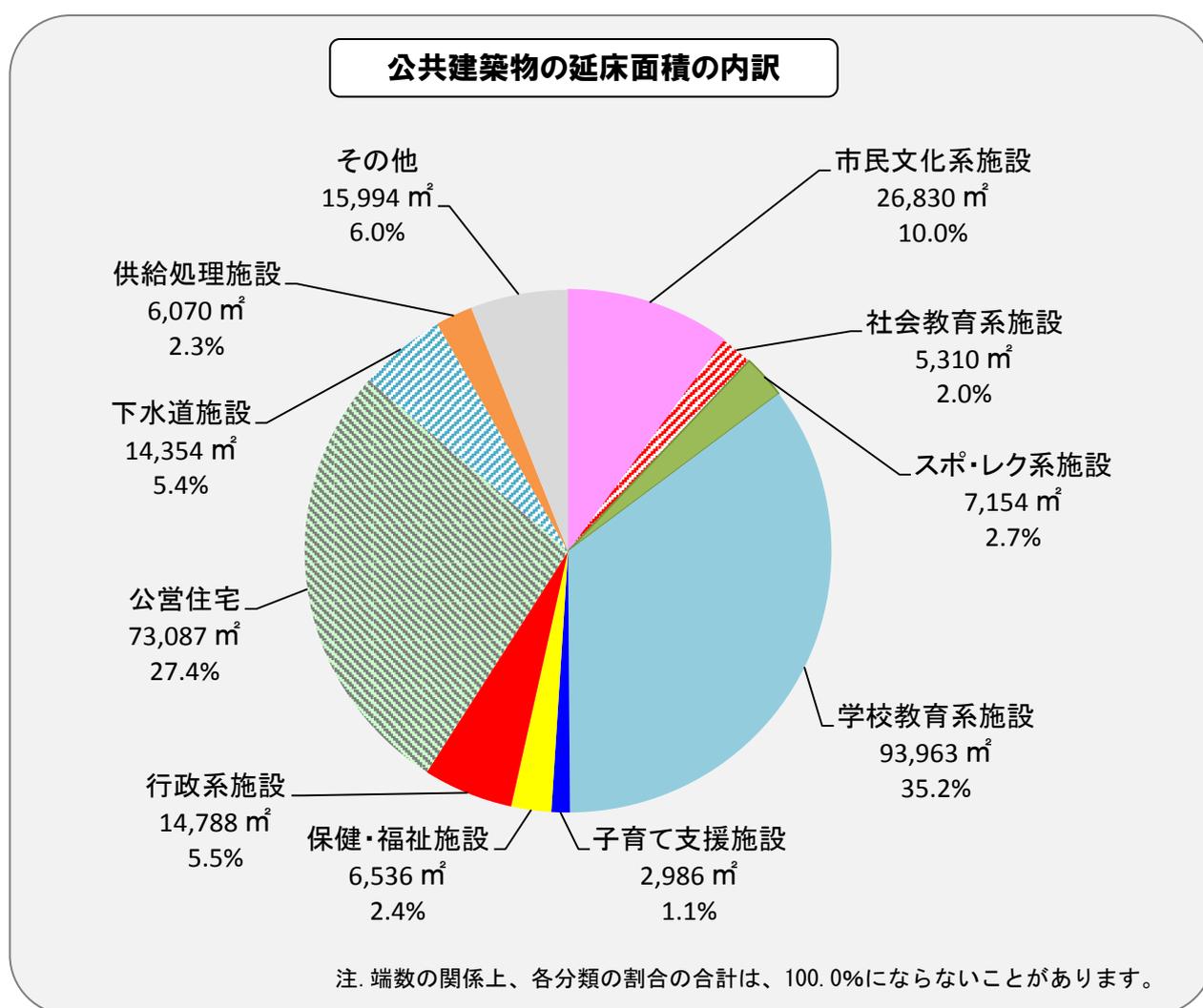
3 公共施設等について

3.1 公共建築物の保有状況

(1) 総量

本市の公共建築物は、数にして314施設（908棟）、延床面積では全体で約26万7千㎡となっています（2014（平成26）年度末時点）。

施設分類別に延床面積の構成割合をみると、学校教育施設が最も高く、全体の1/3となる35.2%（約9万4千㎡）を占めています。次点は、公営住宅（市営住宅、公共賃貸住宅など）で、27.4%（約7万3千㎡）となっています。



施設分類

施設分類	公共建築物名称	延床面積 (m ²)	割合 (%)
市民文化系施設	コスメイト行橋、行橋中央公民館、各校区公民館 等	26,830	10.0
社会教育系施設	稲童第1地区学習等供用施設、行橋市研修センター 等	5,310	2.0
スポーツ・レクリエーション系施設	行橋市体育施設(市民体育館)、行橋市オートキャンプ場 等	7,154	2.7
学校教育系施設	行橋小学校、行橋中学校、防災食育センター 等	93,963	35.2
子育て支援施設	行橋小児童クラブ 等	2,986	1.1
保健・福祉施設	行橋市総合福祉センター(ウイズゆくはし)、新田原老人いこいの家 等	6,536	2.4
行政系施設	市役所、環境課事業所事務所、消防庁舎、防災倉庫 等	14,788	5.5
公営住宅	草野団地、塚田団地 等	73,087	27.4
下水道施設	行橋浄化センター、東部ポンプ場 等	14,354	5.4
供給処理施設	し尿処理施設音無苑、行橋浄水場、文久排水機場 等	6,070	2.3
その他	草場平島共同作業所、稲童海岸トイレ、火葬場 等	15,994	6.0
合 計		267,073	100.0

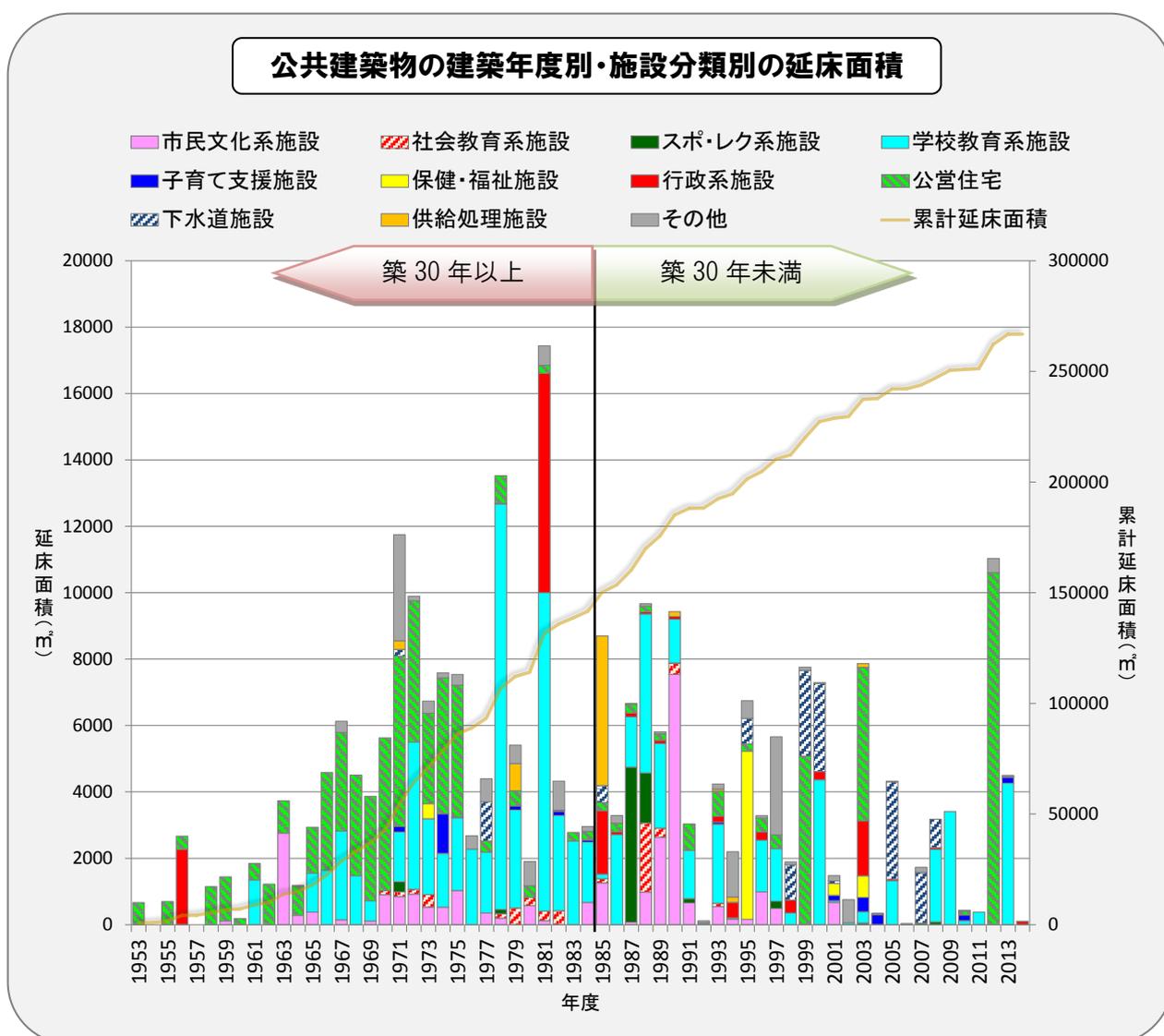
注. 端数の関係上、各分類の延床面積・割合と合計は同じになりません。

(2) 公共建築物の建築年度別・施設分類別延床面積

本市の公共建築物全体の延床面積を年ごとにみても、1960年代から増加し始め、1970年代から1980年代にかけて急激に増加しています。これは、市の人口急増期と一致しています。

公共建築物の建築年度については、公営住宅（市営住宅、公共賃貸住宅など）の多くが1950年代から1970年代にかけて整備されました。また、学校教育系施設が1960年代後半から整備され、1970年代にピークとなっています。

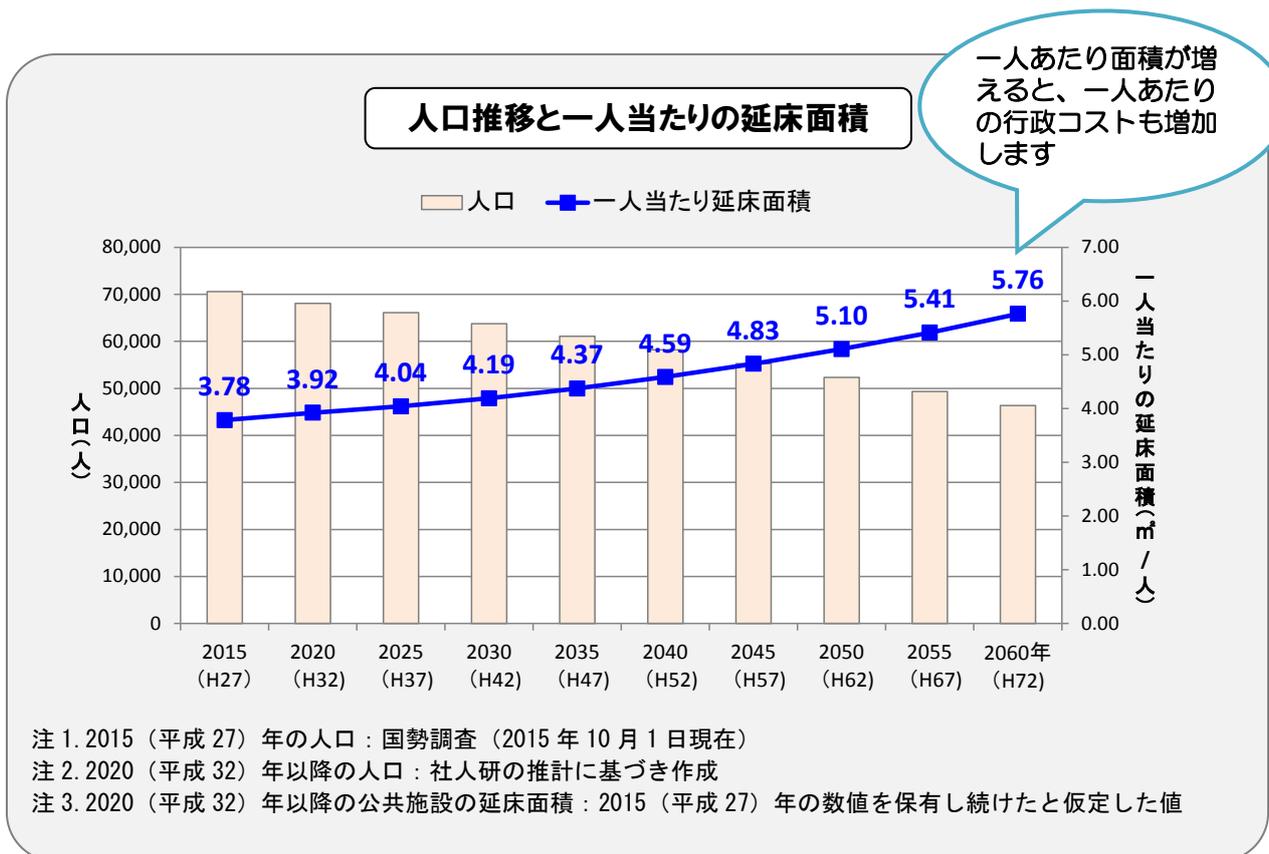
公共建築物全体の延床面積の累計では、1960年代から1980年代まで急激に増加しています。その後も公共建築物の延床面積は増加し続けており、2014（平成26）年度末現在で約26万7千㎡となりました。



(3) 市民一人あたり延床面積

市民一人あたりの公共施設の延床面積は、2015（平成 27）年度時点では、3.78 m²/人となっています。2015（平成 27）年度以降は、延床面積を同じだけ保有し続けると仮定した場合、2020（平成 32）年度以降、人口減少の傾向にあわせて一人あたり延床面積は増加し、2060（平成 72）年度には 5.76 m²/人となる見通しです。

市民一人あたり延床面積が増加することは、その施設を維持・運営するための市民一人あたりの行政コストが増加することにつながります。



3.2 インフラ資産の保有状況

(1) 道路

本市の道路（市道）は、2014（平成26）年度末時点で延長約566kmです。また、農道が約82km、林道が約1.9kmあり、全体で約650km保有しています。

道路の状況

種別	分類	実延長（m）	面積（㎡）
道路 （市道）	1級（幹線）	36,547	230,516
	2級（幹線）	44,989	262,470
	その他	484,475	2,338,767
	計	566,011	2,831,753

種別	分類	実延長（m）	面積（㎡）
道路 （農道）	5.5m以上	8,537	46,954
	5.5m未満 4.0m以上	72,608	1,651,832
	4.0m未満 1.8m以上	404	1,172
	計	81,550	1,699,957

注. 端数の関係上、各分類の実延長と合計値は同じにならないことがあります。

種別	分類	実延長（m）	面積（㎡）
道路 （林道）	—	1,879	10,387

(2) 橋りょう

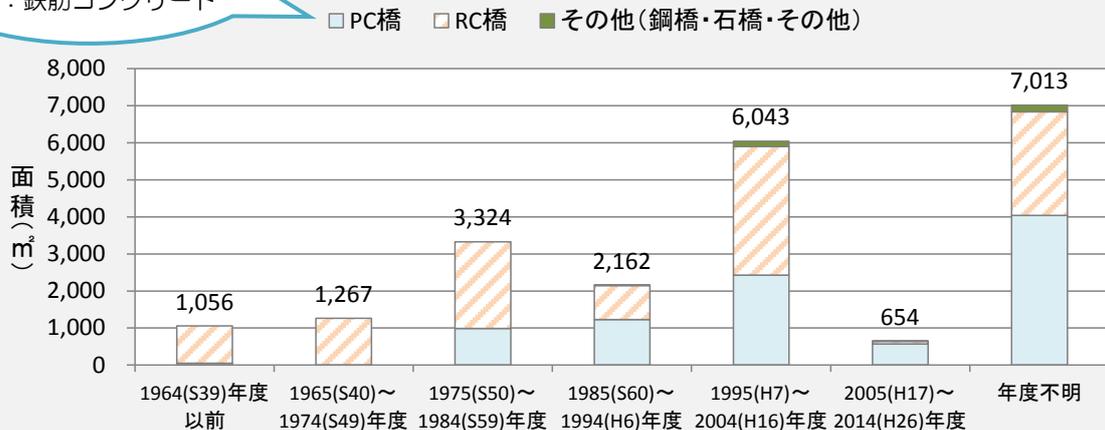
本市は、2014(平成 26)年度末時点で 353 橋の橋りょうを保有しています。その内訳は、市道上の橋りょうが 348 橋、農道上の橋りょうが 4 橋、漁港で 1 橋です。

なお、市道上の橋りょうについては、計画的かつ予防的な維持管理を行い、橋りょうの長寿命化と修繕・架け替えに要する費用の縮減及び平準化を行うことを目的として、2014(平成 26)年 4 月に「橋りょう長寿命化修繕計画」を策定しています。

種 別	橋りょう数	実延長 (m)	面積 (㎡)
市 道	348	2,865	17,765
農道・漁港	5	502	3,754
合 計	353	3,367	21,519

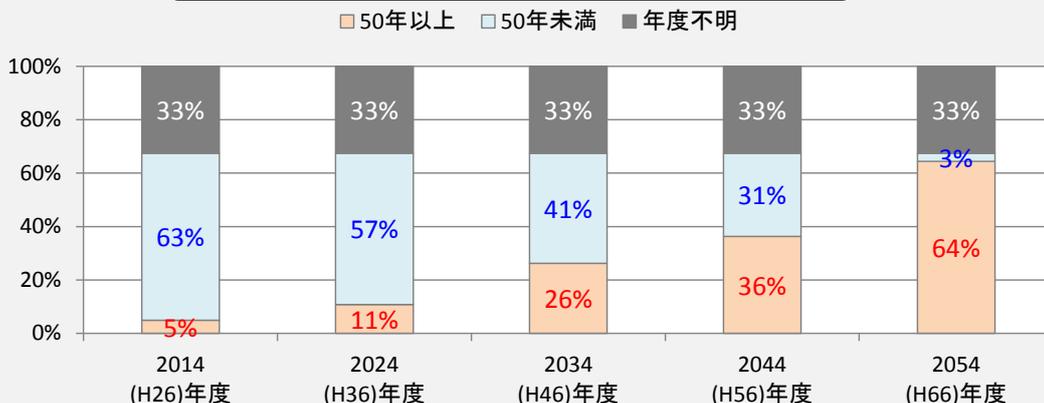
PC：プレストレスト・
コンクリート
RC：鉄筋コンクリート

橋りょうの整備時期



架設から 50 年以上経過している橋りょうは、橋りょうの耐用年数を 60 年とした場合、架け替えまでの期間が 10 年未満となります。本市における架設から 50 年以上経過している橋りょうの面積は、2014(平成 26)年度末時点で 5%ですが、10 年後には 11%、40 年後には 64%に増加します。

架設から50年以上の橋りょう面積の推移

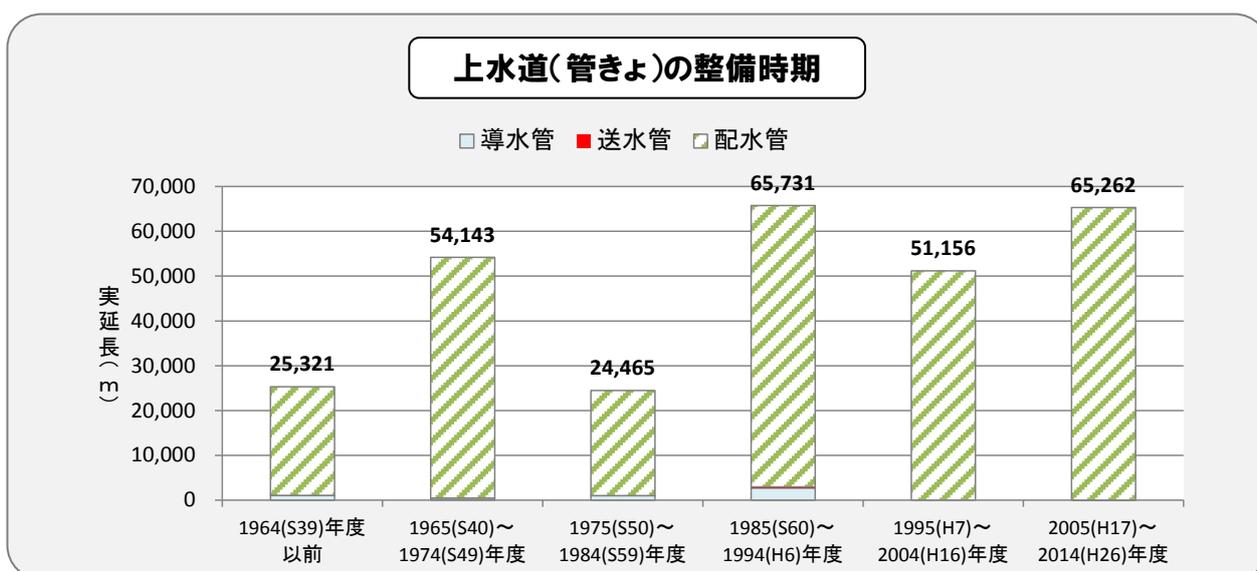


注. 端数の関係上、各年度の割合の合計は 100%にならないことがあります。

(3) 上水道

本市の上水道（管きよ）の実延長は、2014（平成 26）年度末時点で約 286km、上水道の普及率は約 76%です。

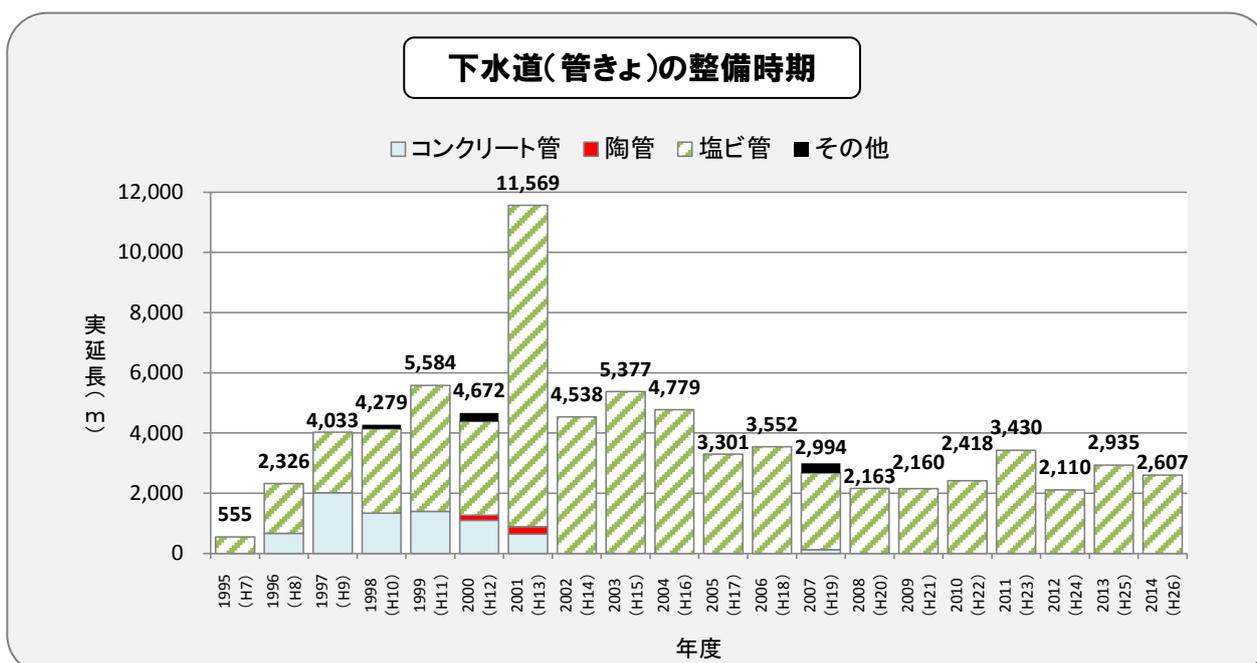
耐用年数を超えた埋設老朽管の敷設替え、浄水場など老朽化した施設の更新など多額の費用が必要になると予想されます。また、節水機器の普及や人口減少社会の到来による給水量の減少が想定されており、収入も減少していくことが予想されます。



(4) 下水道

本市の下水道（管きよ）の実延長は、2014（平成 26）年度末時点で約 75km、公共下水道の普及率は約 18%です。

現在、早急に対策が必要なほど施設の老朽化は進んでおらず、現状は事業推進に重点をおいで実施しています。

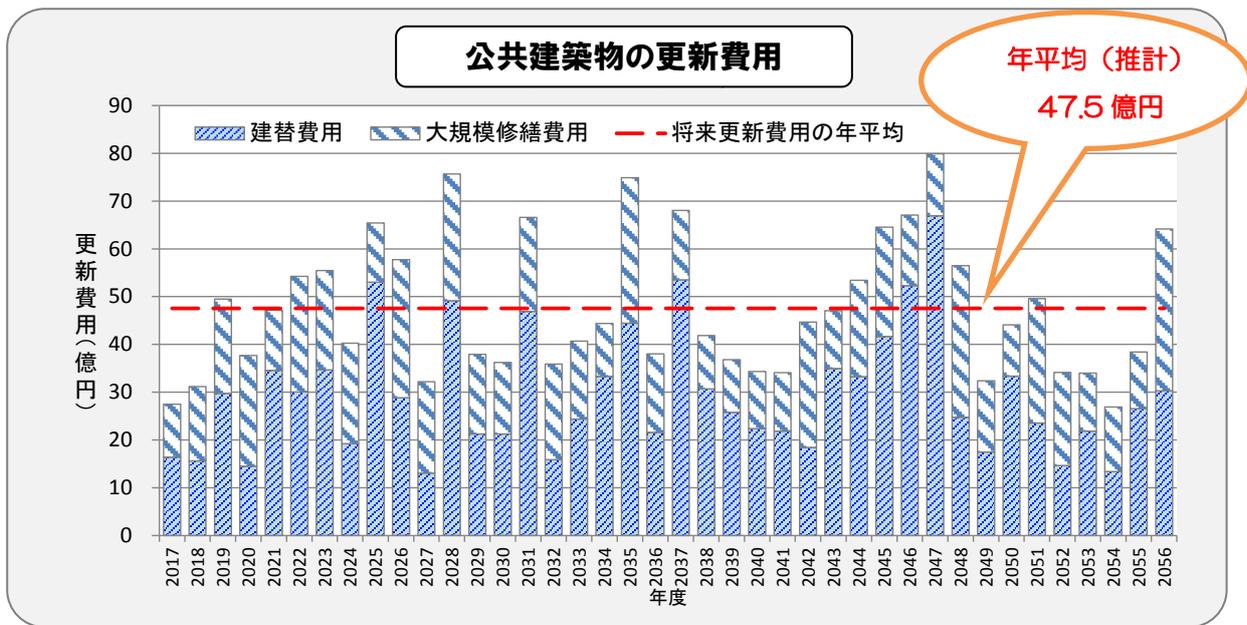


3.3 更新費用の推計

公共施設等の老朽化が進む中、今後 40 年間の更新費用を推計しました。

(1) 公共建築物

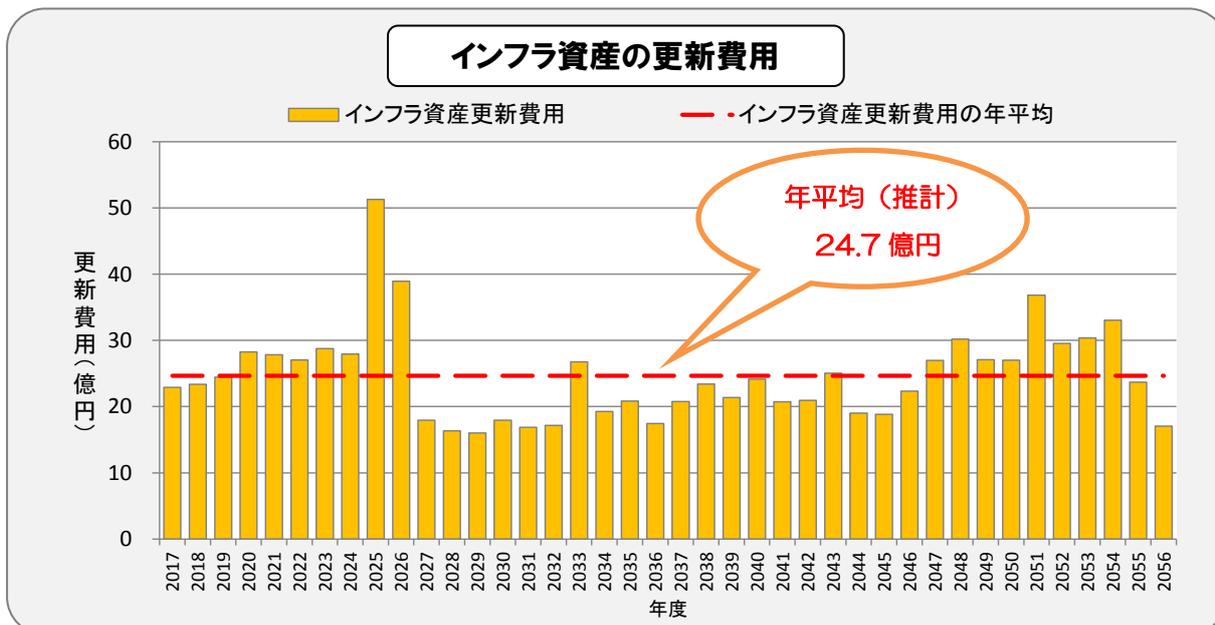
公共建築物の将来の更新費用については、今後 40 年間で総額 1,901 億円、年平均で 47.5 億円を要することが分かりました。



(2) インフラ資産

インフラ資産の将来の更新費用については、今後 40 年間で、総額 986 億円、年平均で 24.7 億円を要することが分かりました。

なお、インフラ資産については主要なものを試算の対象としています。



(3) まとめ

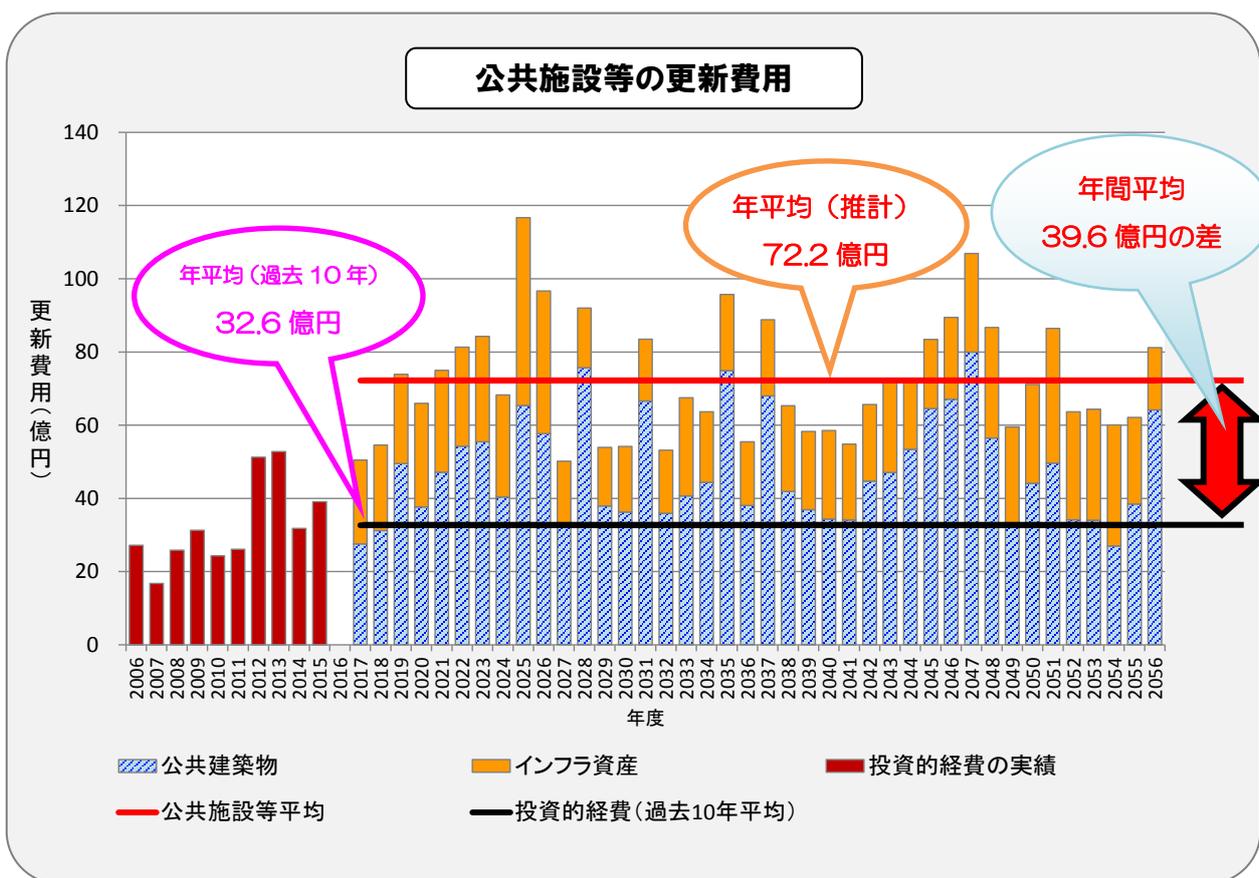
公共建築物とインフラ資産を合算した公共施設等の全てを更新しようとする、将来必要となる更新費用の総額は2,887億円であり、1年あたりの平均額では72.2億円が必要となります。

一方、過去10年間における投資的経費の平均は32.6億円であり、仮に直近10年の投資額と比較するとしても、年平均で39.6億円の財源が不足することになります。

更新費用の推計の結果、更新費用が発生するピークは、2020年代と2040年代後半に見込まれています。

40年間の更新費用総額
2,887億円（年平均約72億円）

※なお、インフラ資産については主要なものを試算の対象としています。



以上のことから、市としては

施設や維持費の削減が必要であると考えています。

4 市民アンケートの結果

本市の「今後の公共施設のあり方」を今後検討していくにあたって、市の現状についての認識や市民から意見をいただくために、アンケート調査を実施しました。

4.1 アンケートの概要

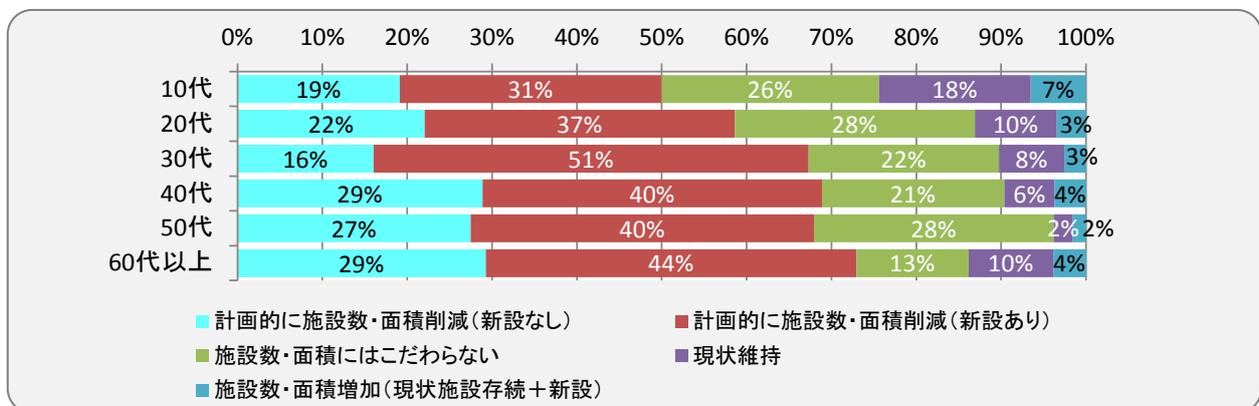
- 発送 郵送
- アンケート方法 記入式
- サンプル抽出方法 地区別年齢別の人口比率を考慮した無作為抽出
- アンケート数 4,000名（15歳以上）
- アンケート期間 発送：2016（平成28）年10月4日
締切：2016（平成28）年10月21日
- 回答者数 1,024名
- 有効回答率 25.6%

4.2 公共建築物の今後の方向性について（アンケート問16、17）

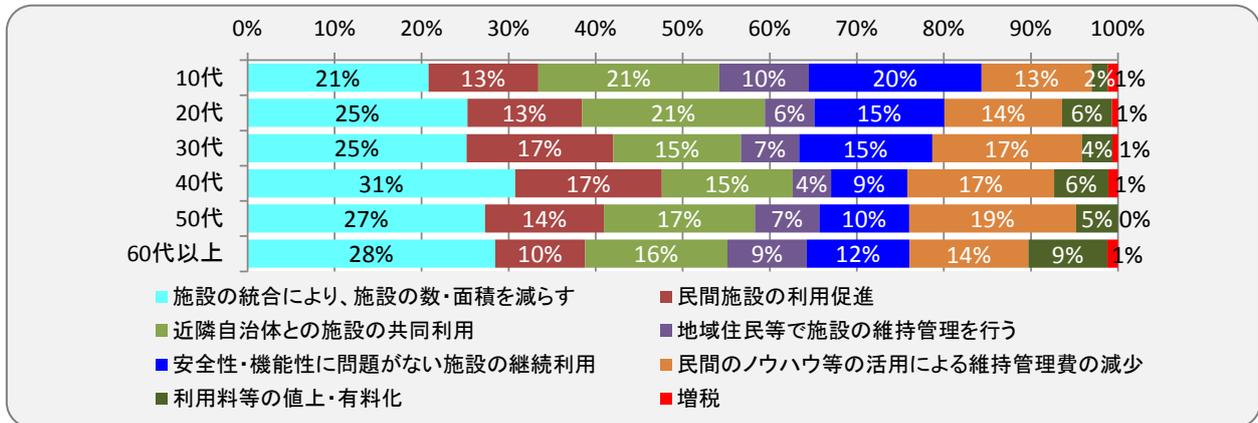
最も多い意見

- 方向性：公共施設の**新設も行うが、計画的に施設数・面積を削減**する
- 方 法：公共施設の統合により、施設数・面積を減らす

市の人口（中でも生産年齢人口）減少や財源不足が予想される中、今後の公共施設の整備や維持管理・運営の方針について、最も近い考えとしては、「新設も行うが、計画的に施設数・面積を削減する」がすべての年代で最も多い回答でした。「新設を行わず、計画的に施設数・面積を削減する」という考えを合わせると、年代別では50～73%であり、全回答者の63%となりました。一方で、「現状維持」や「現状施設を存続させつつ新設も行い、施設数・面積を増加」を合わせると年代別では4～25%、全回答者の14%でした。「計画的に施設数・面積削減」という考えが、「現状維持」及び「施設数・面積増加」という考えに比べて約4倍多いことがわかりました。



また、選んだ方針を実現するための方法としては、すべての年代で「施設の統廃合により、施設数・面積を減らす」が最も多い回答で、年代別では21~31%、全回答者では26%となりました。その他、「近隣自治体との施設の共同利用」が年代別で15~21%、全回答者では18%、「民間のノウハウ等の活用による維持管理費の減少」が年代別で13~19%、全回答者では14%という回答でした。市民・利用者に負担がある「利用料等の値上げ・有料化」は2~9%、「増税」は0~1%と少数でした。



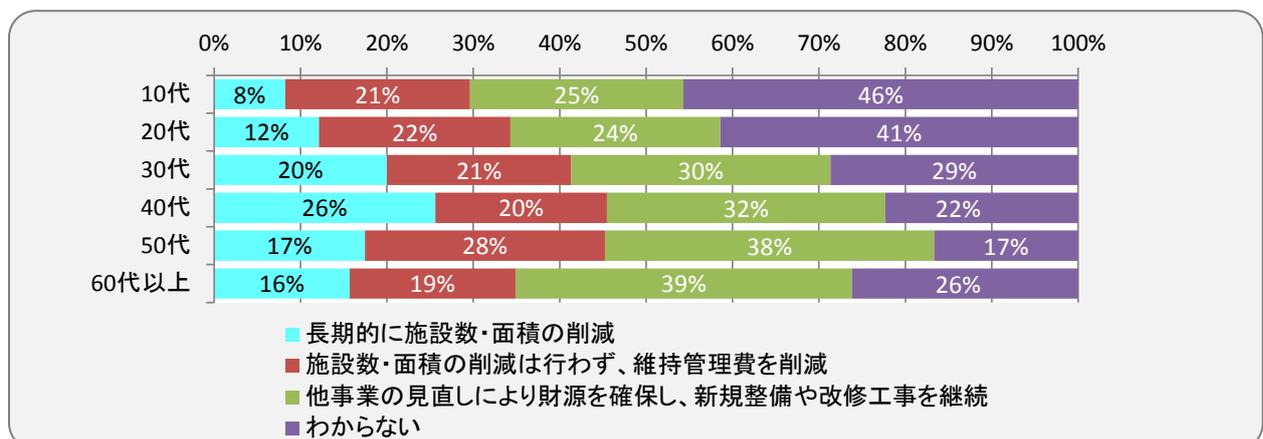
4.3 土木インフラ施設の今後の方向性について（アンケート問 21）

最も多い意見

方向性：他事業の見直しにより**財源を確保し、新規整備や改修工事を継続**する

道路、橋りょう、下水道など土木インフラ施設の維持管理の方針については、「わからない」を除き、最も多いのはすべての年代で「他事業の見直しにより財源を確保し、新規整備や改修工事を継続」という回答で、年代別で24~39%、全回答者では30%でした。また、「施設数・面積の削減は行わず、維持管理費を削減」は、年代別で19~28%、全回答者では21%でした。一方で、「長期的に施設数・面積の削減」は、年代別で8~26%、全回答者では15%でした。

土木インフラについては、公共建築物とは異なり、生活基盤を構成していることから、総量の削減よりも、財源確保や維持管理費を削減するという回答が多くありました。



第3章 公共施設等の管理に関する基本的な方針

1 基本方針

公共建築物について

選択と集中により、必要なものは新設するが、
全体の総量（延床面積）は削減する

インフラ資産について

長寿命化と効率的な維持管理に努める

人口減少社会における今後の財政状況は楽観視できるものではなく、相応の備えが必要であるといえます。しかし、基金や市債の状況も加味した財政状況を引き続き注視していき、行財政改革に取り組みながら「選択と集中」を行えば、健全財政の維持は可能であると考えます。

また、本市が目指す「持続可能な地方都市」を実現するためには、施設を削減するばかりではなく、将来においても残すべき施設や人口増加につながる施設については、新設を行うことも必要であると考えます。

このため、今後の公共建築物の管理に関する市の方針としては、将来における必要性を重要な判断要素として、市民ニーズと財政状況に照らし、新設も行いながら、全体としては更新を契機として延床面積の削減に取り組むものとします。また、あわせて維持管理費用の削減も行います。

インフラ資産については、現時点では、長寿命化などにより、維持管理費用を削減することで、行政サービスの急激な低下を招くことのないよう努めます。

2 数値目標

前述の基本方針を進めるにあたっての指標として、次のとおり数値目標を定めます。

2.1 公共建築物について

行橋市の市民一人あたり公共施設延床面積は、2015（平成 27）年度末時点で 3.78 m²/人であり、全国平均並み（全国平均 3.77 m²/人、福岡県平均 4.15 m²/人）となっています。

一方、本市の総人口は、2056（平成 68）年度までに約 30%減少する見込みです。現在の公共施設延床面積を維持すると、市民一人あたり公共施設延床面積とともに、市民一人あたりの公共施設維持費の負担が増加していくことになります。

このため、**市民一人あたり公共施設延床面積 3.78 m²/人を維持**することとし、公共施設等の総量に係る数値目標を下記のとおりとします。

40年後（2056（平成68）年度末）までに
延床面積を約 30%（約 80,000 m²）削減する
ことを目指します。

このための当面の目標として
2017（平成 29）年度から20年後（2036（平成 48）年度末）までに
延床面積を約 15%（約 40,000 m²）削減する
ことを目指します。

2.2 インフラ資産について

インフラ資産については、公共建築物とは異なり生活基盤を構成していることから、全体総量の削減目標を数値化することは現時点では難しいと判断しました。

基本的には今後、個別事業にて目標の設定を行うこととします。

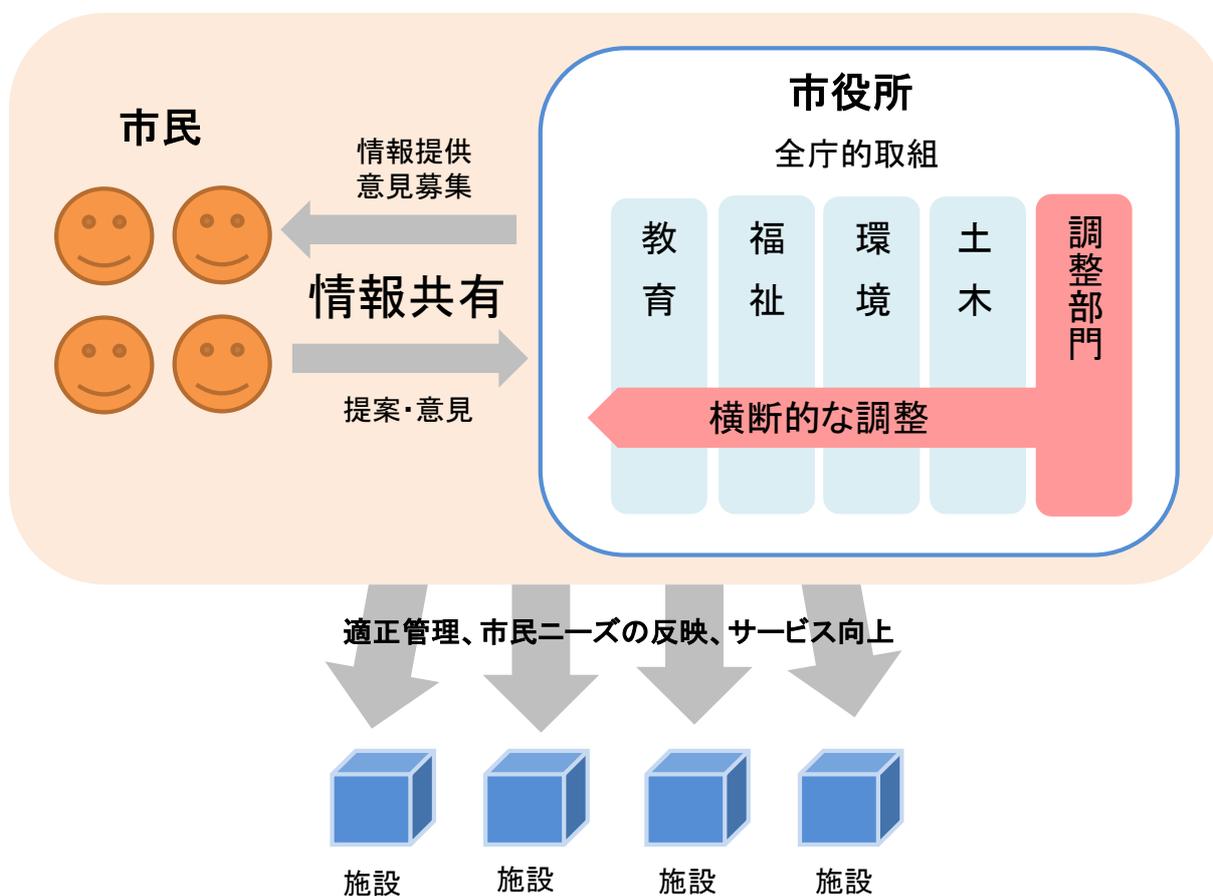
3 実施方針

基本方針、数値目標を達成するために、次のような取組みを行います。

3.1 庁内横断的な取組体制の構築

行橋市公共施設等総合管理計画内部検討会議を中心として、課題や方針についての情報共有を行い、公共施設マネジメントの視点を各種計画等の行政施策に反映させます。

また、本市が直面している公共施設等の老朽化対策を適切に進めるために、建築や土木に関する職員の技術習得と専門資格の取得を推進し、体制の強化を図ります。

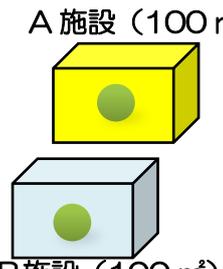
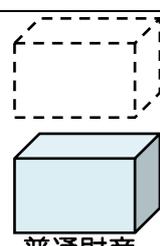
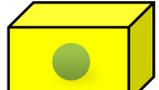
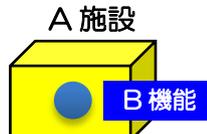
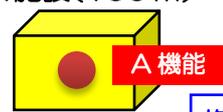
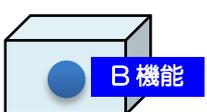
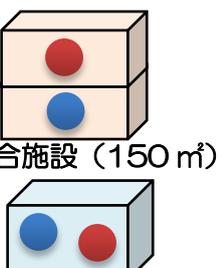


3.2 最適配置の推進

公共建築物を中心として、広域連携の促進を図りながら、最適配置の実現を目指します。

最適配置にあたっては、老朽化や耐震化などの施設性能に関する面と、施設の必需性の両面から施設の維持更新を検討します。施設の必需性を把握するために、市民意見の反映に努めます。また、他自治体の事例等、新たな最適配置の方法の把握にも努めます。

最適配置の例としては、次のような方法があります。

最適配置の概要	最適配置のイメージ	
	実施前	実施後
<p>①施設を1箇所にまとめる。</p> <p>ポイント：同様のサービスを提供している施設で余剰が生じている場合に、一つにまとめて総量を減らす。</p>	<p>A 施設 (100 m²)</p>  <p>B 施設 (100 m²)</p>	<p>集約化</p> <p>建替え or 既存施設に統合</p> <p>C 施設 (150 m²)</p> <p>B 施設 (100 m²)</p>
<p>②民間に運営をゆだねる。 (譲渡を含む)</p> <p>ポイント：民間のノウハウを使って、機能を残しつつ市の支出を減らす。</p>	<p>A 施設</p> <p>市</p> 	<p>民間活力</p> <p>A 施設</p> <p>民間</p> 
<p>③施設の廃止を進める。</p> <p>ポイント：ニーズに合わせて施設を廃止して市の支出を減らす。</p>	<p>A 施設</p> 	<p>除却</p> <p>廃止</p> <p>解体</p> <p>供用廃止</p> <p>普通財産</p> 
<p>④建替えの際に規模を縮小する。</p> <p>ポイント：ニーズに合わせて機能を残しつつ市の支出を減らす。</p>	<p>A 施設 (100 m²)</p> 	<p>効率化</p> <p>A 施設 (50 m²)</p> 
<p>⑤別の用途の施設として利用する。 (既存建物を活用)</p> <p>ポイント：新築費用を節約する。</p>	<p>A 施設</p> <p>A 機能</p> 	<p>転用</p> <p>A 施設</p> <p>B 機能</p> 
<p>⑥公共施設等の再編による拠点整備 とともに新たなニーズに応える。</p> <p>ポイント：新たなニーズの掘り起こしと新築費用を節約する。</p>	<p>A 施設 (100 m²)</p> <p>A 機能</p>  <p>B 施設 (100 m²)</p> <p>B 機能</p> 	<p>複合化</p> <p>建替え or 既存施設に統合</p> <p>C 複合施設 (150 m²)</p> <p>AB 複合施設 (100 m²)</p> 

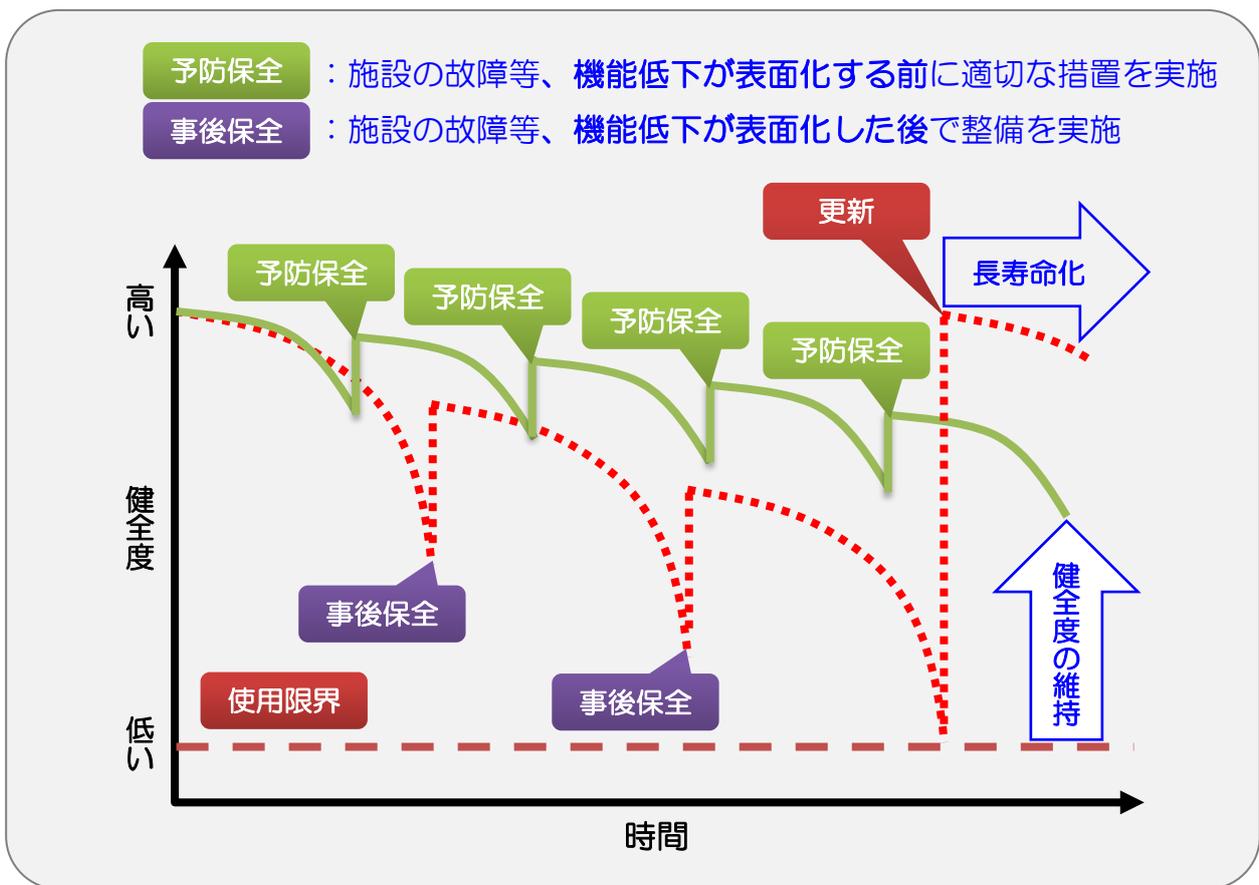
3.3 長寿命化

公共施設等の維持更新については、老朽化や耐震化、機能、必需性などを検討します。

維持するものについては、機能を必要水準まで引き上げるための改修（「長寿命化改修」）を行うための計画（「長寿命化計画」）を策定し、将来にわたって長く使い続けられるようにします。

また、不具合に対する修繕については、不具合が生じる前からの保全（予防保全）を取り入れ、急激な機能低下を防ぎ、建て替えや大規模改修までの期間を延ばします。

老朽化の程度や不具合箇所の把握のため、点検診断等の充実を図ります。



予防保全の場合、短期的には維持管理の費用が増えることもありますが、使用期間を延ばすことにより、長期的には更新費用を含めた維持管理費を削減することができます。

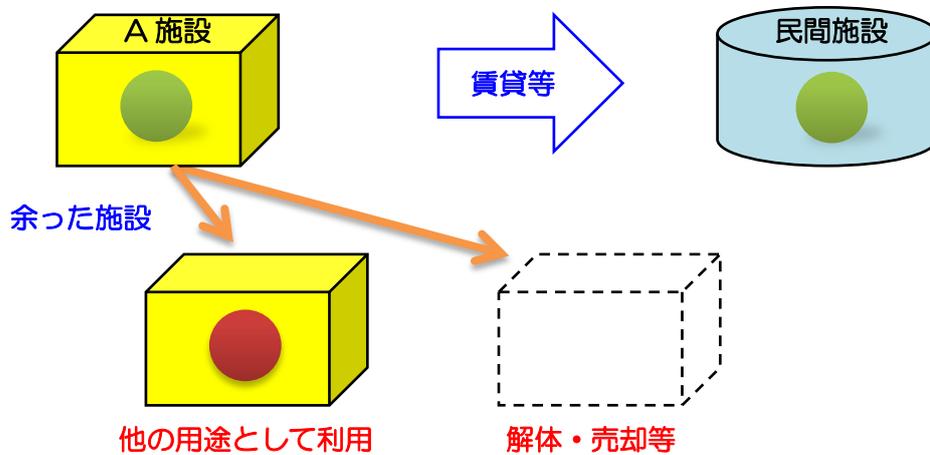
3.4 官民連携

大規模修繕や建て替え工事など、多額の費用を要する工事の実施にあたっては、PFI等の官民連携手法の採用を積極的に検討し、財政負担の軽減を図るように努めます。

民間代替性の高い事業、民間連携の必要性や効果が高い施設を主な対象として、民間事業者の資金・施設・創意工夫の活用と連携を図ります。

民間施設の利用

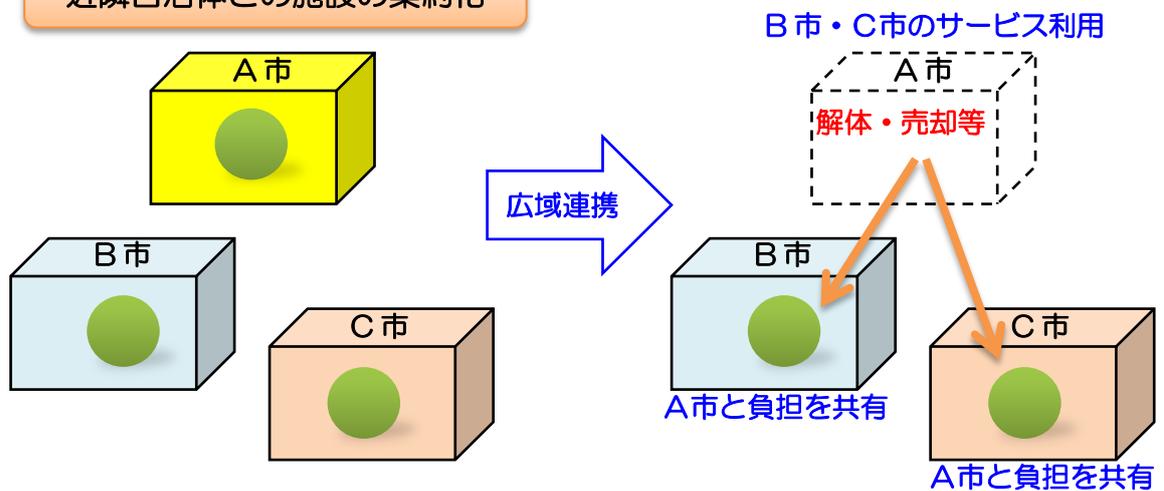
施設の規模や設備、運営形態等を踏まえ、周辺の民間施設を利用



3.5 広域連携

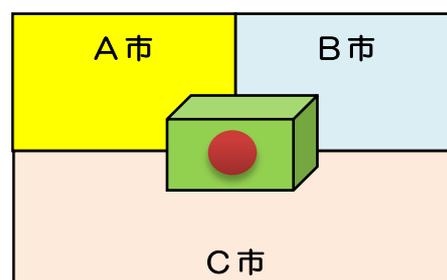
近隣自治体との施設の近接度合いや生活圏域の重複等の実態を踏まえ、市域を超えた施設の共同利用の促進を図ります。

近隣自治体との施設の集約化



近隣自治体との施設の共同運営

A市・B市・C市一つの施設を共同で運営



第4章 巻末資料

1 公共施設等一覧

1.1 公共建築物

公共建築物一覧（1/4）

施設類型	用途分類	延床面積(m ²)	構成(%)	公共建築物名称
市民文化系施設	文化施設	10,769	4.03%	コスメイト行橋、行橋市民会館、長寿窯 旧百三十銀行行橋支店(行橋赤レンガ館) 守田菘洲旧居 行橋総合公園内文化財収納庫 東棟・西棟 文化財収蔵庫
	集会施設	16,061	6.01%	羽根木集会所、羽根木西集会所 延永上集会所、下検地集会所 下津熊集会所、下稗田集会所 祇園町集会所、吉国集会所 行事東町集会所、小犬丸集会所 上津熊集会所、植田町集会所 新生町集会所、新地集会所 新地第2集会所、西宮市2区集会所 西宮市3区集会所、西宮市4区集会所 西宮市5区集会所、西寺畔集会所 西福富集会所、石田新開集会所 川島集会所、草場一集会所、草場二集会所 草場三集会所、草野集会所、大和町集会所 中川集会所、中津熊集会所 中津熊第二集会所、中津熊第三集会所 長音寺集会所、長木一集会所 長木二集会所、鳥井原集会所、津積集会所 東流末一集会所、道場寺駅前集会所 道場寺南部集会所、農進集会所 福永集会所、福原集会所、福富集会所 平島東集会所、北大野井集会所 門樋上集会所、門樋上第二集会所 門樋上第三集会所、流末集会所 行橋市ふれあいの家 塚田第1公民館、塚田第2公民館 今井市営住宅集会所、桜町公民館 昭和市営住宅集会所、草野市営住宅集会所 川島市住集会所、サンワークゆくはし 行橋中央公民館、行橋南公民館 行橋北公民館、菘島公民館、稗田公民館 延永公民館、今川公民館、泉公民館 今元公民館、椿市公民館、仲津公民館 行橋公民館

※平成 26 年度末時点での施設であり、その後新設された施設や廃止された施設もあります。

公共建築物一覧（2/4）

施設類型	用途分類	延床面積(m ²)	構成(%)	公共建築物名称
社会教育施設	学習等供用施設	3,228	1.21%	稲童第1地区学習等供用施設 稲童第2地区学習等供用施設 稲童第3地区学習等供用施設 稲童第4地区学習等供用施設 稲童第5地区学習等供用施設 高瀬第1地区学習等供用施設 高瀬第2地区学習等供用施設 松原地区学習等供用施設 草場地区学習等供用施設 袋迫地区学習等供用施設 長井地区学習等供用施設 辻垣地区学習等供用施設 東新田原地区学習等供用施設 東徳永地区学習等供用施設 道場寺駅前地区学習等供用施設 道場寺中央地区学習等供用施設 道場寺南部地区学習等供用施設 道場寺本区地区学習等供用施設 馬場地区学習等供用施設 畠田西地区学習等供用施設 畠田東地区学習等供用施設 平島地区学習等供用施設
	研修センター	2,082	0.78%	行橋市研修センター
スポーツ・レクリエーション系施設	スポーツ施設	7,019	2.63%	行橋総合公園 行橋市体育施設(市民体育館) 行橋市体育施設(弓道場) 行橋市体育施設(武道館) 行橋市体育施設(庭球場) 行橋市体育施設(市民プール) 行橋市体育施設(多目的グラウンド) 行橋市体育施設(中山グラウンド) 新田原グラウンド 泉スポーツ広場
	レクリエーション施設	136	0.05%	行橋市オートキャンプ場
学校教育施設	小学校	53,925	20.19%	行橋小学校、椿市小学校、稗田小学校 延永小学校、今川小学校、泉小学校 今元小学校、菘島小学校、仲津小学校 行橋南小学校、行橋北小学校
	中学校	35,787	13.40%	行橋中学校、中京中学校、泉中学校 今元中学校、仲津中学校、長峡中学校
	防災食育センター	4,251	1.59%	防災食育センター
子育て支援施設	保育所	1,194	0.45%	大橋保育所
	児童クラブ	1,728	0.65%	行橋小児童クラブ、行橋南小児童クラブ 行橋北小児童クラブ、泉小児童クラブ 第2泉小児童クラブ、延永小児童クラブ 今川小児童クラブ、稗田小児童クラブ 今元小児童クラブ、仲津小児童クラブ 椿市小児童クラブ、菘島小児童クラブ
	その他	64	0.02%	風の里

※平成26年度末時点での施設であり、その後新設された施設や廃止された施設もあります。

公共建築物一覧（3/4）

施設類型	用途分類	延床面積(m ²)	構成(%)	公共建築物名称
保健・福祉施	福祉施設	5,066	1.90%	行橋市総合福祉センター(ウイズゆくはし) 行橋市生きがい対策センター
	保健施設	1,470	0.55%	新田原老人いきいの家/高齢者自立支援センター 地域ケア複合センター
行政系施設	庁舎等	11,954	4.48%	市役所 環境課事業所事務所
	消防施設	2,762	1.03%	消防庁舎 消防格納庫 第1分団 消防格納庫 第3分団 消防格納庫 第4分団 消防格納庫 第5分団 消防格納庫 第6分団 消防格納庫 第7分団 消防格納庫 第8分団 消防格納庫 第9分団 消防格納庫 第10分団
	その他	72	0.03%	防災倉庫
公営住宅	公営住宅	73,087	27.37%	行事アパート、草野団地、塚田団地 今井団地、寺畔団地、昭和団地、川島団地 迫田団地、小迫団地、宮市団地 宮市第2団地、稗田団地、福原団地 福原(池の上)団地、流末団地 流末第二団地、流末第三団地 道場寺団地、羽根木団地 羽根木第二団地、福永団地、延永上団地 平島団地、平島第二団地、辰団地 辰第二団地、草場団地、草場第一団地 草場新池団地、草場緑ヶ丘団地、長木団地 大野井団地、大野井第二団地、西福富団地 鳥井原団地、鳥井原第二団地 鳥井原第三団地、福富団地、川島第二団地 西泉団地、福永第二団地、新生町団地 今川団地、寺畔第二団地、東大橋団地 東大橋第二団地、寺畔第二(北大野井)団地 桜町団地、公共賃貸住宅大橋団地 行事北団地
下水道施設	下水道施設	14,354	5.37%	行橋浄化センター 西宮市汚水中継ポンプ場 椿市地区集落排水污水处理場 東部ポンプ場 西部ポンプ場 南部ポンプ場 北部ポンプ場
供給処理施	処理施設	2,734	1.02%	し尿処理施設音無苑
	上水道施設	2,849	1.07%	行橋浄水場 矢留浄水場
	雨水排水機場	487	0.18%	文久排水機場 金屋排水機場 辰下排水機場 石田新開排水機場 沓尾・長井排水機場

※平成26年度末時点での施設であり、その後新設された施設や廃止された施設もあります。

公共建築物一覧（4/4）

施設類型	用途分類	延床面積 (m ²)	構成 (%)	公共建築物名称
そ の 他	作 業 所 等	5,234	1.96%	草場平島共同作業所、北大野井共同作業所 榑市共同作業所、延永地区共同作業所 行橋市共同育苗施設、長井 農機具格納庫 上宮市1 農機具格納庫、上宮市2 農機具格納庫 幸町 農機具倉庫、行事東町 農機具格納庫 新地1 農機具格納庫、新地2 農機具格納庫 石田新開 農機具格納庫、桜町 農機具格納庫 川島1 農機具格納庫、川島2 農機具格納庫 新生町 農機具格納庫、大和町 農機具格納庫 辰上 農機具格納庫、辰下 農機具格納庫 道場寺南部 農機具格納庫 道場寺駅前 農機具格納庫 馬場・高瀬・辻垣農機具倉庫 草場1 農機具格納庫、草場3 農機具格納庫 福原1 農機具格納庫、福原2 農機具格納庫 福富 農機具格納庫、西福富 農機具格納庫 平島東 農機具格納庫、羽根木 農機具格納庫 大野井 農機具格納庫、東流末1 農機具格納庫 東流末2 農機具格納庫、西寺畔 農機具格納庫 流末 農機具格納庫、津積 農機具格納庫 西谷 農機具格納庫、下稗田 農機具格納庫 下検地 農機具格納庫、吉国 農機具格納庫 延永上 農機具格納庫、草野 農機具格納庫 長木 農機具格納庫、中津熊 農機具格納庫 上津熊 農機具格納庫、鳥井原 農機具格納庫
	ト イ レ 施 設	812	0.30%	みやこの苑開園グラウンド 南行橋駅前ロータリー、行橋駅高架下 豊津駅前、井尻川公園、稲童公園 今元公園、大橋公園、行事さくら公園 八景山2号公園、ふんすい公園 行橋総合公園、稲童海岸、沓尾漁港 御所ヶ谷駐車場、神田町、川島公園 長井海岸、長井浜海水浴場 菘島ライオンズ公園、菘島旧錦海荘前 菘島西浜、イベント広場 御所ヶ谷住吉池公園
	そ の 他	9,949	3.73%	旧桜町集会所、旧御所老人いこいの家 旧魚市場 旧急患センター、京都保護区保護司会 田町区防災器具格納庫(旧駅前交番) 旧給食センター(第1センター) 行橋京都文化センター 東九州道 行橋今川バスストップ 行橋駅南自転車駐車場、行橋駅北自転車駐車場 行橋市魚市場、観光自転車置場 行橋市広域消費生活センター 行橋市営火葬場、川島納骨堂 環境課事業所内火山倉庫

※平成 26 年度末時点での施設であり、その後新設された施設や廃止された施設もあります。

1.2 インフラ資産

(1) 道路

① 市道

市道の一覧（1級）

道路種別	路線番号	路線名称	路線の 供用開始年月日	道路延長 (m)	道路面積 (㎡)
1級	6001	松木・大原線	昭和58年12月21日	1,468.34	5,505.82
1級	6002	前ノ屋敷・ヒワノクマ線	平成16年3月25日	1,919.17	11,635.22
1級	6003	宮ノ前・塚原線	昭和58年12月21日	747.25	5,499.44
1級	6004	広ワラ・上花松線	昭和58年12月21日	773.99	4,084.94
1級	6006	西宮市1号線	昭和58年12月21日	855.47	9,048.39
1級	6007	門田・西宮市3丁目線	昭和58年12月21日	1,665.43	11,041.91
1級	6008	東ヒラセ町・堺線	昭和58年12月21日	756.19	5,297.81
1級	6009	立田・岩田線	平成16年4月16日	785.06	4,527.03
1級	6010	前田・綿打線	平成17年1月18日	3,061.48	23,085.44
1級	6011	堂前・寄合田線	昭和58年12月21日	2,521.65	11,036.14
1級	6012	寄原・トウセ線	昭和58年12月21日	1,125.44	5,894.62
1級	6013	広畑・西前線	昭和58年12月21日	862.73	4,149.49
1級	6014	カンヤ・原田線	昭和58年12月21日	1,340.49	7,213.72
1級	6015	野々中・石仏線	昭和58年12月21日	1,603.83	11,834.62
1級	6016	道場寺・袋迫線	平成16年3月25日	2,133.02	12,826.21
1級	6017	長者原・郡境原線	平成26年3月17日	1,687.70	20,733.94
1級	6018	行事4丁目・久悦線	平成16年3月25日	818.78	5,184.57
1級	6019	大橋2丁目・寅新地線	昭和58年12月21日	2,563.30	15,082.64
1級	6020	河島・大通線	平成16年3月25日	715.91	3,902.04
1級	6021	文久・稲ハタ線	平成22年12月16日	2,065.28	14,630.88
1級	6022	裏海岸一周線	昭和58年12月21日	2,088.91	12,905.18
1級	6023	新開・丸山線	昭和58年12月21日	1,383.39	12,659.46
1級	6024	代線	昭和58年12月21日	1,188.66	2,479.72
1級	6025	狩矢・大山線	昭和58年12月21日	1,451.77	8,539.90
1級	6026	陣山・小原線	昭和58年12月21日	963.41	1,717.30
合計		25 路線		36,546.65	230,516.43

※平成 26 年度末時点

市道の一覧（2級・その他）

道路種別	路線番号	路線名称	路線の 供用開始年月日	道路延長 (m)	道路面積 (㎡)
2級	7001	流レ・上部線	昭和58年12月21日	947.30	5,028.29
2級	7002	神田・久保柿線	平成16年3月25日	894.43	3,559.23
2級	7003	寺ノ前・前田線	昭和58年12月21日	527.90	2,475.55
2級	7004	流レ・上原口線	昭和58年12月21日	1,668.15	8,403.91
2級	7005	貝・樋田線	昭和58年12月21日	331.11	1,434.58
2級	7006	山ノ下・上延永線	昭和58年12月21日	521.25	3,410.34
2級	7007	石割・下原口線	昭和58年12月21日	784.07	3,756.86
2級	7008	八田口・川崎線	昭和58年12月21日	1,123.16	6,599.83
2級	7009	大首・一町田線	昭和58年12月21日	1,735.01	8,794.24
2級	7010	土井ノ内・ウドの上線	平成16年3月25日	603.46	2,760.38
2級	7011	前田・イクワ線	昭和58年12月21日	648.18	3,598.65
2級	7012	大町・清水線	昭和58年12月21日	1,128.61	6,590.38
2級	7013	一ノ坪・待司田線	昭和58年12月21日	501.54	2,292.43
2級	7014	原田・ツク田線	昭和58年12月21日	865.49	5,648.31
2級	7015	瀬戸・シトキ田線	昭和58年12月21日	607.81	2,714.40
2級	7016	マナコ・竹峰線	平成16年3月25日	1,151.87	5,473.18
2級	7017	佛木・前田線	昭和58年12月21日	804.22	3,803.18
2級	7018	宮ノ上・川向線	昭和58年12月21日	930.01	6,435.69
2級	7019	豆田・寺ヶ追線	昭和58年12月21日	1,026.70	9,797.17
2級	7020	塚田・御所ヶ谷線	昭和58年12月21日	1,921.73	10,168.77
2級	7021	久作・サヤヶ谷線	昭和58年12月21日	1,334.12	7,437.83
2級	7022	臼野・架ノ内線	昭和58年12月21日	1,113.89	4,752.25
2級	7023	アサイ・寄合田線	昭和58年12月21日	2,248.13	13,319.07
2級	7024	鬼塚・下遊山線	昭和58年12月21日	742.82	3,697.31
2級	7025	寄原・上坂田線	平成16年11月22日	1,156.90	5,464.71
2級	7026	池ノ下・マカリ線	昭和58年12月21日	542.39	3,033.67
2級	7027	行事1丁目・寅新開線	昭和58年12月21日	915.03	6,226.04
2級	7028	出店・新地線	昭和58年12月21日	2,861.15	23,865.69
2級	7029	平田・雨龍線	平成16年3月25日	2,291.14	11,267.43
2級	7030	前門・東線	平成16年3月25日	829.36	5,154.62
2級	7031	文久・上新地線	平成16年3月25日	1,141.06	8,718.62
2級	7032	コシビラ・新開線	昭和58年12月21日	1,857.05	12,587.95
2級	7033	井無田・岩崎線	平成16年3月25日	1,590.00	7,984.05
2級	7034	石佛・一丁田原線	昭和58年12月21日	2,349.06	12,854.92
2級	7035	興七・東徳永線	昭和58年12月21日	1,102.42	7,547.07
2級	7036	東徳永・郡塚線	昭和58年12月21日	682.06	3,697.31
2級	7037	国道10号・東徳永線	平成16年3月25日	1,371.93	8,681.05
2級	7038	陣山・西線	平成16年3月25日	2,138.61	13,434.55
2級合計		38 路線		44,989.12	262,469.51
その他合計		2,102 路線		484,475.23	2,338,767.36

※平成26年度末時点

② 農道

農道一覧（1/7）

路線名	路線番号	実農道延長(m)	台帳作成年月日
行橋 3 号線	1003	500	平成 4 年 3 月 25 日
行橋 4 号線	1004	836	平成 4 年 3 月 25 日
行橋 6 号線	1006	758	平成 4 年 3 月 25 日
行橋 11 号線	1011	163	平成 8 年 3 月 22 日
行橋 14 号線	1014	213	平成 9 年 3 月 25 日
行橋 15 号線	1015	294	平成 10 年 3 月 25 日
行橋 16 号線	1016	260	平成 10 年 3 月 25 日
行橋 17 号線	1017	333	平成 11 年 3 月 23 日
行橋 18 号線	1018	284	平成 12 年 3 月 28 日
行橋 19 号線	1019	252	平成 13 年 3 月 28 日
行橋 21 号線	1021	178	平成 16 年 3 月 31 日
延永 1 号線	2001	151	平成 4 年 3 月 25 日
延永 4 号線	2004	258	平成 6 年 3 月 10 日
延永 6 号線	2006	160	平成 6 年 3 月 10 日
延永 11 号線	2011	437	平成 7 年 3 月 20 日
延永 12 号線	2012	548	平成 7 年 3 月 20 日
延永 14 号線	2014	351	平成 8 年 3 月 22 日
延永 15 号線	2015	100	平成 9 年 3 月 25 日
延永 16 号線	2016	234	平成 9 年 3 月 25 日
延永 17 号線	2017	766	平成 9 年 3 月 25 日
延永 18 号線	2018	225	平成 10 年 3 月 25 日
延永 20 号線	2020	172	平成 10 年 3 月 25 日
延永 21 号線	2021	320	平成 11 年 3 月 23 日
延永 22 号線	2022	523	平成 11 年 3 月 23 日
延永 34 号線	2034	119	平成 17 年 3 月 31 日
椿市 1 号線	3001	590	平成 4 年 3 月 25 日
椿市 2 号線	3002	44	平成 4 年 3 月 25 日
椿市 3 号線	3003	571	平成 4 年 3 月 25 日
椿市 5 号線	3005	115	平成 4 年 3 月 25 日
椿市 6 号線	3006	159	平成 4 年 3 月 25 日
椿市 7 号線	3007	140	平成 4 年 3 月 25 日
椿市 8 号線	3008	605	平成 4 年 3 月 25 日
椿市 9 号線	3009	155	平成 4 年 3 月 25 日
椿市 10 号線	3010	285	平成 6 年 3 月 10 日
椿市 11 号線	3011	177	平成 6 年 3 月 10 日
椿市 12 号線	3012	250	平成 6 年 3 月 10 日
椿市 14 号線	3014	152	平成 8 年 3 月 22 日
椿市 15 号線	3015	334	平成 9 年 3 月 25 日
椿市 16 号線	3016	221	平成 10 年 3 月 25 日
椿市 17 号線	3017	171	平成 11 年 3 月 23 日
椿市 18 号線	3018	203	平成 11 年 3 月 23 日
椿市 21 号線	3021	92	平成 14 年 3 月 28 日
椿市 22 号線	3022	274	平成 14 年 3 月 28 日
椿市 23 号線	3023	218	平成 15 年 3 月 28 日
椿市 24 号線	3024	457	平成 15 年 3 月 28 日
椿市 25 号線	3025	97	平成 16 年 3 月 31 日
椿市 26 号線	3026	238	平成 16 年 3 月 31 日

※平成 26 年度末時点の一定要件農道

農道一覧（2/7）

路線名	路線番号	実農道延長(m)	台帳作成年月日
樺市 27 号線	3027	227	平成 17 年 3 月 31 日
樺市 28 号線	3028	221	平成 17 年 3 月 31 日
今元 1 号線	5001	139	平成 4 年 3 月 25 日
今元 2 号線	5002	519	平成 6 年 3 月 10 日
今元 3 号線	5003	204	平成 8 年 3 月 22 日
今元 5 号線	5005	237	平成 9 年 3 月 25 日
今元 6 号線	5006	156	平成 10 年 3 月 25 日
今元 7 号線	5007	292	平成 13 年 3 月 28 日
今元 8 号線	5008	388	平成 14 年 3 月 28 日
稗田 2 号線	6002	209	平成 4 年 3 月 25 日
稗田 3 号線	6003	109	平成 4 年 3 月 25 日
稗田 4 号線	6004	178	平成 4 年 3 月 25 日
稗田 5 号線	6005	616	平成 4 年 3 月 25 日
稗田 6 号線	6006	87	平成 4 年 3 月 25 日
稗田 9 号線	6009	208	平成 6 年 3 月 10 日
稗田 11 号線	6011	168	平成 6 年 3 月 10 日
稗田 12 号線	6012	436	平成 7 年 3 月 20 日
稗田 13 号線	6013	387	平成 7 年 3 月 20 日
稗田 14 号線	6014	242	平成 8 年 3 月 22 日
稗田 16 号線	6016	178	平成 8 年 3 月 22 日
稗田 17 号線	6017	188	平成 8 年 3 月 22 日
稗田 18 号線	6018	190	平成 8 年 3 月 22 日
稗田 19 号線	6019	309	平成 8 年 3 月 22 日
稗田 20 号線	6020	229	平成 8 年 3 月 22 日
稗田 21 号線	6021	217	平成 11 年 3 月 23 日
稗田 22 号線	6022	315	平成 12 年 3 月 28 日
稗田 23 号線	6023	152	平成 12 年 3 月 28 日
稗田 24 号線	6024	212	平成 12 年 3 月 28 日
稗田 25 号線	6025	92	平成 12 年 3 月 28 日
稗田 26 号線	6026	332	平成 12 年 3 月 28 日
稗田 27 号線	6027	415	平成 12 年 3 月 28 日
稗田 29 号線	6029	687	平成 12 年 3 月 28 日
稗田 30 号線	6030	638	平成 12 年 3 月 28 日
稗田 32 号線	6032	217	平成 12 年 3 月 28 日
稗田 33 号線	6033	294	平成 12 年 3 月 28 日
稗田 35 号線	6035	46	平成 12 年 3 月 28 日
稗田 36 号線	6036	215	平成 13 年 3 月 28 日
稗田 37 号線	6037	212	平成 13 年 3 月 28 日
稗田 40 号線	6040	125	平成 16 年 3 月 31 日
今川 1 号線	7001	312	平成 4 年 3 月 25 日
今川 4 号線	7004	210	平成 4 年 3 月 25 日
今川 5 号線	7005	379	平成 4 年 3 月 25 日
今川 8 号線	7008	562	平成 6 年 3 月 10 日
今川 10 号線	7010	351	平成 6 年 3 月 10 日
今川 11 号線	7011	139	平成 6 年 3 月 10 日
今川 12 号線	7012	181	平成 6 年 3 月 10 日
今川 13 号線	7013	282	平成 6 年 3 月 10 日
今川 14 号線	7014	95	平成 6 年 3 月 10 日

※平成 26 年度末時点の一定要件農道

農道一覧（3/7）

路線名	路線番号	実農道延長(m)	台帳作成年月日
今川 15 号線	7015	280	平成 6 年 3 月 10 日
今川 17 号線	7017	357	平成 7 年 3 月 20 日
今川 18 号線	7018	371	平成 7 年 3 月 20 日
今川 21 号線	7021	104	平成 8 年 3 月 22 日
今川 22 号線	7022	364	平成 8 年 3 月 22 日
今川 24 号線	7024	265	平成 9 年 3 月 25 日
今川 27 号線	7027	126	平成 10 年 3 月 25 日
今川 29 号線	7029	325	平成 10 年 3 月 25 日
今川 30 号線	7030	297	平成 10 年 3 月 25 日
今川 31 号線	7031	164	平成 11 年 3 月 23 日
今川 33 号線	7033	275	平成 11 年 3 月 23 日
今川 34 号線	7034	389	平成 11 年 3 月 23 日
今川 36 号線	7036	296	平成 11 年 3 月 23 日
今川 37 号線	7037	268	平成 11 年 3 月 23 日
今川 40 号線	7040	180	平成 12 年 3 月 28 日
今川 41 号線	7041	289	平成 12 年 3 月 28 日
今川 42 号線	7042	386	平成 12 年 3 月 28 日
今川 45 号線	7045	364	平成 13 年 3 月 28 日
今川 46 号線	7046	171	平成 13 年 3 月 28 日
今川 47 号線	7047	277	平成 13 年 3 月 28 日
今川 48 号線	7048	140	平成 13 年 3 月 28 日
今川 49 号線	7049	400	平成 13 年 3 月 28 日
今川 51 号線	7051	116	平成 13 年 3 月 28 日
今川 52 号線	7052	221	平成 14 年 3 月 28 日
今川 55 号線	7055	239	平成 14 年 3 月 28 日
今川 56 号線	7056	330	平成 14 年 3 月 28 日
今川 57 号線	7057	401	平成 14 年 3 月 28 日
今川 59 号線	7059	223	平成 14 年 3 月 28 日
今川 61 号線	7061	214	平成 15 年 3 月 28 日
今川 63 号線	7063	337	平成 15 年 3 月 28 日
今川 65 号線	7065	185	平成 16 年 3 月 31 日
今川 66 号線	7066	188	平成 16 年 3 月 31 日
今川 67 号線	7067	93	平成 16 年 3 月 31 日
今川 69 号線	7069	101	平成 16 年 3 月 31 日
今川 70 号線	7070	218	平成 17 年 3 月 31 日
今川 71 号線	7071	252	平成 17 年 3 月 31 日
今川 72 号線	7072	153	平成 17 年 3 月 31 日
泉 1 号線	8001	205	平成 4 年 3 月 25 日
泉 4 号線	8004	346	平成 4 年 3 月 25 日
泉 5 号線	8005	110	平成 4 年 3 月 25 日
泉 6 号線	8006	317	平成 4 年 3 月 25 日
泉 8 号線	8008	341	平成 4 年 3 月 25 日
泉 11 号線	8011	298	平成 6 年 3 月 10 日
泉 12 号線	8012	240	平成 6 年 3 月 10 日
泉 13 号線	8013	336	平成 6 年 3 月 10 日
泉 14 号線	8014	169	平成 6 年 3 月 10 日
泉 16 号線	8016	293	平成 6 年 3 月 10 日
泉 19 号線	8019	377	平成 7 年 3 月 20 日

※平成 26 年度末時点の一定要件農道

農道一覧（4/7）

路線名	路線番号	実農道延長(m)	台帳作成年月日
泉 20 号線	8020	125	平成 7 年 3 月 20 日
泉 21 号線	8021	103	平成 7 年 3 月 20 日
泉 23 号線	8023	323	平成 8 年 3 月 22 日
泉 24 号線	8024	149	平成 8 年 3 月 22 日
泉 25 号線	8025	345	平成 8 年 3 月 22 日
泉 26 号線	8026	706	平成 8 年 3 月 22 日
泉 27 号線	8027	553	平成 8 年 3 月 22 日
泉 28 号線	8028	228	平成 8 年 3 月 22 日
泉 29 号線	8029	645	平成 8 年 3 月 22 日
泉 30 号線	8030	265	平成 8 年 3 月 22 日
泉 31 号線	8031	282	平成 8 年 3 月 22 日
泉 34 号線	8034	604	平成 8 年 3 月 22 日
泉 35 号線	8035	477	平成 8 年 3 月 22 日
泉 36 号線	8036	230	平成 8 年 3 月 22 日
泉 37 号線	8037	203	平成 8 年 3 月 22 日
泉 40 号線	8040	120	平成 8 年 3 月 22 日
泉 48 号線	8048	260	平成 8 年 3 月 22 日
泉 50 号線	8050	204	平成 9 年 3 月 25 日
泉 53 号線	8053	83	平成 10 年 3 月 25 日
泉 54 号線	8054	416	平成 11 年 3 月 23 日
泉 55 号線	8055	203	平成 11 年 3 月 23 日
泉 56 号線	8056	48	平成 11 年 3 月 23 日
泉 57 号線	8057	160	平成 11 年 3 月 23 日
泉 59 号線	8059	270	平成 12 年 3 月 28 日
泉 61 号線	8061	502	平成 12 年 3 月 28 日
泉 63 号線	8063	201	平成 12 年 3 月 28 日
泉 64 号線	8064	421	平成 12 年 3 月 28 日
泉 65 号線	8065	430	平成 12 年 3 月 28 日
泉 66 号線	8066	94	平成 12 年 3 月 28 日
泉 68 号線	8068	98	平成 12 年 3 月 28 日
泉 71 号線	8071	222	平成 12 年 3 月 28 日
泉 72 号線	8072	371	平成 12 年 3 月 28 日
泉 73 号線	8073	258	平成 12 年 3 月 28 日
泉 74 号線	8074	75	平成 12 年 3 月 28 日
泉 79 号線	8079	218	平成 15 年 3 月 28 日
泉 83 号線	8083	140	平成 16 年 3 月 31 日
泉 84 号線	8084	94	平成 17 年 3 月 31 日
泉 85 号線	8085	86	平成 17 年 3 月 31 日
上稗田 2 号線	10102	251	平成 17 年 3 月 31 日
上稗田 4 号線	10104	428	平成 17 年 3 月 31 日
上稗田 6 号線	10106	355	平成 17 年 3 月 31 日
上稗田 7 号線	10107	445	平成 17 年 3 月 31 日
上稗田 10 号線	10110	455	平成 17 年 3 月 31 日
農免農道 01 号線(鋤崎・延永間)	10-01	549	平成 11 年 2 月 8 日
農免農道 02 号線(吉国間)	10-02	540	平成 11 年 2 月 8 日
農免農道 04 号線(延永・吉国間)	10-04	485	平成 11 年 11 月 23 日
上津熊 1 号線	2036	160	平成 18 年 3 月 31 日
長木 1 号線	2037	231	平成 18 年 3 月 31 日

※平成 26 年度末時点の一定要件農道

農道一覧（5/7）

路線名	路線番号	実農道延長(m)	台帳作成年月日
北大野井1号線	7073	311	平成18年3月31日
西泉七丁目1号線	8087	113	平成18年3月31日
野田1号線	11001	89	平成19年3月15日
吉国1号線	11002	383	平成19年3月15日
下検地3号線	11003	136	平成19年3月15日
下検地1号線	11004	213	平成19年3月15日
東流末1号線	11005	123	平成19年3月15日
入覚12号線	10211	109	平成18年3月29日
入覚32号線	10231	175	平成18年3月29日
入覚38号線	10237	139	平成18年3月29日
入覚41号線	10240	304	平成18年3月29日
入覚43号線	10242	358	平成18年3月29日
下崎1号線	10250	1,206	平成18年3月29日
入覚51号線	10251	22	平成18年3月29日
入覚53号線	10253	122	平成18年3月29日
入覚55号線	10255	595	平成18年3月29日
下崎11号線	10265	48	平成18年3月29日
下崎13号線	10267	562	平成18年3月29日
下崎14号線	10268	250	平成18年3月29日
長尾2号線	10271	359	平成18年3月29日
長尾4号線	10277	57	平成18年3月29日
入覚60号線	10303	296	平成18年3月31日
入覚62号線	10305	34	平成18年3月31日
入覚64号線	10307	251	平成18年3月31日
高来4号線	10311	138	平成18年3月31日
高来15号線	10322	109	平成18年3月31日
高来17号線	10324	321	平成18年3月31日
高来25号線	10332	90	平成18年3月31日
高来27号線	10339	166	平成18年3月31日
高来29号線	10341	39	平成18年3月31日
福丸2号線	10343	136	平成18年3月31日
福丸9号線	10350	220	平成18年3月31日
徳永7号線	10361	90	平成19年2月26日
徳永13号線	10367	126	平成19年2月26日
高瀬1号線	11001	902	平成18年3月27日
高瀬2号線	11002	306	平成18年3月27日
辻垣1号線	11003	201	平成18年3月27日
高瀬3号線	11004	158	平成18年3月27日
高瀬4号線	11005	174	平成18年3月27日
高瀬5号線	11006	87	平成18年3月27日
高瀬6号線	11007	117	平成18年3月27日
高瀬7号線	11008	43	平成18年3月27日
馬場1号線	11009	26	平成18年3月27日
高瀬10号線	11012	280	平成18年3月27日
高瀬11号線	11013	139	平成18年3月27日
馬場2号線	11014	246	平成18年3月27日
馬場3号線	11015	209	平成18年3月27日
高瀬12号線	11016	71	平成18年3月27日

※平成26年度末時点の一定要件農道

農道一覧（6/7）

路線名	路線番号	実農道延長(m)	台帳作成年月日
馬場 4 号線	11017	408	平成 18 年 3 月 27 日
馬場 5 号線	11018	172	平成 18 年 3 月 27 日
元永 1 号線	11020	342	平成 18 年 3 月 27 日
元永 2 号線	11021	140	平成 18 年 3 月 27 日
元永 3 号線	11022	831	平成 18 年 3 月 27 日
元永 4 号線	11023	69	平成 18 年 3 月 27 日
元永 5 号線	11024	148	平成 18 年 3 月 27 日
元永 8 号線	11027	18	平成 18 年 3 月 27 日
元永 9 号線	11028	56	平成 18 年 3 月 27 日
元永 11 号線	11030	325	平成 18 年 3 月 27 日
津留 1 号線	11031	316	平成 18 年 3 月 27 日
津留 3 号線	11033	385	平成 18 年 3 月 27 日
真菰 1 号線	11035	216	平成 18 年 3 月 27 日
元永 12 号線	11036	664	平成 18 年 3 月 27 日
元永 14 号線	11038	146	平成 18 年 3 月 27 日
元永 15 号線	11039	152	平成 18 年 3 月 27 日
元永 16 号線	11040	104	平成 18 年 3 月 27 日
津留 5 号線	11041	977	平成 18 年 3 月 27 日
真菰 2 号線	11046	93	平成 18 年 3 月 27 日
真菰 4 号線	11048	374	平成 18 年 3 月 27 日
高瀬 14 号線	11051	413	平成 19 年 12 月 10 日
辻垣 3 号線	11053	125	平成 19 年 12 月 10 日
高瀬 15 号線	11054	93	平成 19 年 12 月 10 日
馬場 8 号線	11056	201	平成 19 年 12 月 10 日
馬場 13 号線	11061	204	平成 19 年 12 月 10 日
元永 18 号線	11064	644	平成 19 年 12 月 10 日
元永 19 号線	11065	299	平成 19 年 12 月 10 日
元永 22 号線	11068	319	平成 19 年 12 月 10 日
津留 11 号線	11071	847	平成 19 年 12 月 10 日
津留 17 号線	11077	113	平成 19 年 12 月 10 日
津留 18 号線	11078	251	平成 19 年 12 月 10 日
津留 20 号線	11080	106	平成 19 年 12 月 10 日
辻垣 4 号線	11082	1,219	平成 19 年 12 月 10 日
大谷 1 号線	11101	130	平成 19 年 3 月 26 日
大谷 3 号線	11103	238	平成 19 年 3 月 26 日
大谷 5 号線	11105	202	平成 19 年 3 月 26 日
大谷 7 号線	11107	464	平成 19 年 3 月 26 日
大谷 8 号線	11108	216	平成 19 年 3 月 26 日
大谷 9 号線	11109	218	平成 19 年 3 月 26 日
大谷 10 号線	11110	214	平成 19 年 3 月 26 日
大谷 27 号線	11127	59	平成 19 年 9 月 25 日
天生田 3 号線	11133	209	平成 19 年 9 月 25 日
天生田 5 号線	11135	89	平成 19 年 9 月 25 日
下検地 4 号線	12002	125	平成 20 年 3 月 25 日
宝山 5 号線	12005	285	平成 20 年 3 月 25 日
泉中央 2 号線	12007	112	平成 20 年 3 月 25 日
北泉 1 号線	12009	225	平成 20 年 3 月 25 日
二塚 3 号線	12104	122	平成 25 年 3 月 15 日

※平成 26 年度末時点の一定要件農道

農道一覧（7/7）

路線名	路線番号	実農道延長(m)	台帳作成年月日
道場寺1号線	12106	85	平成25年3月15日
長井15号線	12111	166	平成25年3月15日
天生田11号線	11141	301	平成20年7月31日
天生田13号線	11143	325	平成20年7月31日
天生田14号線	11144	610	平成20年7月31日
天生田16号線	11146	274	平成20年7月31日
宝山2号線	11149	284	平成20年7月31日
宝山3号線	11150	558	平成20年7月31日
天生田20号線	11155	233	平成20年7月31日
天生田27号線	11162	193	平成20年7月31日
天生田30号線	11165	254	平成20年7月31日
県営基幹農道	1-1	658	平成22年9月21日
農道合計	299路線	81,550	

※平成26年度末時点の一定要件農道

③ 林道

林道一覧

台帳整理番号	路線名	延長(m)	幅員(m)	面積(m ²)
21301	御所ヶ谷	473	3.6	4,032
21302	入覚	591	3.6	4,412
21303	榛	815	3.6	1,943
林道合計	3路線	1,879		10,387

※平成26年度末時点

④ 橋りょう

市道上の橋りょう一覧（1/7）

名称	構造	所在地	延長(m)	面積(㎡)
長丸橋	PC橋	0008 下津熊・行事線	9.40	52.73
今川橋	RC橋	0463 門樋町・泉中央三丁目線	98.70	942.58
彦徳橋	RC橋	2655 矢留・天生田橋線	9.37	60.90
金川橋	PC橋	6010 前田・綿打線	11.60	20.00
天生田橋	RC橋	2655 矢留・天生田橋線	86.90	437.11
寺畔橋	RC橋	6010 前田・綿打線	104.90	688.14
矢山橋	RC橋	0801 ムチステ・別所線	15.56	46.83
水正橋	RC橋	7017 佛木・前田線	18.64	74.74
枇杷橋	RC橋	0802 石見堂・地田線	14.15	43.15
草場橋	RC橋	6015 野々中・石仏線	75.01	638.71
宮市橋	RC橋	6006 西宮市1号線	30.88	185.89
常松橋	RC橋	7003 寺ノ前・前田線	18.35	79.76
曲り尾橋	RC橋	0807 長田・寺ヶ町線	15.16	45.48
馬場ノ尾橋	PC橋	7007 石割・下原口線	5.80	23.20
共存橋	PC橋	0591 コンヤ・前田線	13.35	53.53
真須田橋	RC橋	2001 木京・渡地線	27.98	140.17
小鳥跨道橋	RC橋	2109 コンヤ平・寺ヶ迫線	24.73	79.63
唐戸橋	PC橋	7028 出店・新地線	11.45	68.70
紅梅橋	PC橋	3122 立石・紅梅線	11.30	63.39
中川渡橋	RC橋	2066 川原田・前田線	31.80	114.48
大堤橋	RC橋	7018 宮ノ上・川向線	30.70	122.80
熊本橋	PC橋	7016 マナコ・竹峰線	33.78	169.23
宮田橋	RC橋	2081 樋口・宮ノ下線	31.40	94.20
市場橋	RC橋	2514 市場・馬場線	19.40	77.60
二崎橋	RC橋	7027 行事一丁目・寅新開線	50.90	356.30
小波瀬橋	PC橋	6018 行事四丁目・久悦線	40.40	181.80
古川橋	PC橋	6008 東ヒラセ町・堺線	42.60	149.52
津留橋	RC橋	2070 佛木・茶園線	31.75	159.06
万年橋	PC橋	0386 行事五丁目・門樋線	55.60	278.00
波風橋	RC橋	6007 門田・西宮市三丁目線	23.70	124.84
上小犬丸橋	RC橋	3066 田・辻畑線	14.70	74.23
山崎橋	RC橋	6003 宮ノ前・塚原線	5.45	32.75
延寿橋	RC橋	0590 向穴田・下り畑線	19.80	99.19
新寺畔橋	PC橋	0159 舟原・西泉七丁目線	20.66	145.03
今元歩道橋	PC橋	1666 東橋・今元小学校線	92.03	230.07
川田橋	PC橋	6010 前田・綿打線	4.00	24.00
舟路橋	石橋	0029 中央二丁目1号線	4.18	11.45
九助橋	PC橋	3001 安面・高畑線	25.70	135.00
下馬場尾橋	PC橋	6002 前ノ屋敷・ヒワノクマ線	8.60	60.20
ゼイジ橋	PC橋	0645 上町・1町田線	9.60	28.80
長寿橋	PC橋	7009 大首・1町田線	9.50	57.09
三田橋	PC橋	3582 古城・頭無線	6.73	28.13
桶尻橋	RC橋	6003 宮ノ前・塚原線	10.40	52.10
下宮市橋	PC橋	0012 大橋三丁目・神田線	2.66	17.55
簸川橋	RC橋	0010 行事・神田町線	54.60	546.00
新開橋	RC橋	6023 新開・丸山線	17.84	189.46
ふれあい橋	PC橋	0739 下ブシュー・西宮市一丁目線	72.00	504.72
上稗田橋	PC橋	2161 小松原・川向線	30.72	233.47
秋桜橋	鋼橋	0745 タツミ・高倉線	33.00	147.59
願成就橋	PC橋	7019 豆田・寺ヶ追線	30.32	265.30

※平成26年度末時点

市道上の橋りょう一覧（2/7）

名称	構造	所在地	延長(m)	面積(㎡)
神田町跨道橋	PC橋	0462 駅東通り2号線	11.60	116.23
無田橋	PC橋	0324 行事七丁目1号線	7.05	33.84
老松橋	PC橋	0002 中央2号線	4.71	27.55
寶橋	RC橋	0004 神田町・中央一丁目線	3.50	70.00
交流橋	PC橋	0439JR日豊本線西側道1号線	54.60	546.00
長峽橋	PC橋	0461 駅東通り線	54.80	1,052.70
日焼橋	PC橋	2127 下塚田・六田線	19.25	173.25
中津熊1号橋	RC橋	0766 中津熊6号線	2.10	38.30
三鉾橋	PC橋	0462 駅東通り2号線	7.11	39.17
三鉾橋歩道橋	鋼橋	0462 駅東通り2号線	7.11	12.13
野々中橋	RC橋	3561 新田原駅前団地10号線	2.10	8.19
郡境原跨線橋	PC橋	6017 長者原・郡境原線	19.00	180.50
百谷橋	RC橋	7004 流レ・上原口線	4.06	37.14
松先橋	PC橋	0816 屋敷・樋田線	3.60	10.08
古門橋	PC橋	0808 金福寺・飛松線	2.90	13.05
須磨園橋	PC橋	7003 寺ノ前・前田線	2.00	9.20
徳永橋	RC橋	0811 古門2号線	2.90	13.05
前ノ口橋	PC橋	0863 前ノ口・下林ノ口線	3.70	9.25
曲り橋	PC橋	0861 西ノ出口・野添線	3.10	10.85
長沼橋	RC橋	7001 流レ・上部線	4.70	23.97
一ノ坪橋	PC橋	0802 石見堂・地田線	9.24	27.99
油木橋	RC橋	7001 流レ・上部線	3.30	25.50
河内橋	RC橋	7001 流レ・上部線	4.00	26.52
庚申堂橋	PC橋	0824 河原田・清水線	2.40	12.48
橋川橋	PC橋	0826 前田・周毛屋敷線	3.60	15.76
馬場橋	PC橋	0839 ハシ・高山線	2.00	5.90
大木橋	PC橋	6001 松木・大原線	3.46	11.90
猪迫橋	石橋	7002 神田・久保柿線	3.30	18.81
遊田下橋	RC橋	7002 神田・久保柿線	2.00	12.00
田鋤橋	RC橋	6001 松木・大原線	2.95	17.70
水路3-1号橋	RC橋	0109 石田新開6号線	4.70	26.60
正沼橋	RC橋	0316 行事8号線	2.85	17.04
宮ノ前橋	PC橋	0570 八反田3号線	5.80	27.60
桂橋	PC橋	7011 前田・イクワ線	2.90	13.42
ミツナオ橋	石橋	0603 下ブシュウ・平田線	2.25	9.33
下津熊橋	PC橋	0603 下ブシュウ・平田線	2.20	13.64
上榭橋	PC橋	0603 下ブシュウ・平田線	2.10	9.45
上柳橋	PC橋	6006 西宮市1号線	3.00	21.99
入橋	PC橋	0668 ホカテ・堂ノ木下線	2.00	7.20
フシュウ下橋	PC橋	0526 中津熊1号線	4.48	17.92
中津熊橋	PC橋	0600 ヤブノ下・木下線	2.46	7.06
荒木橋	PC橋	7012 大町・清水線	2.55	12.24
松正橋	PC橋	0625 木ノ町・塚ノ本線	2.20	15.64
通産1号橋	PC橋	0627 つのくま苑団地2号線	2.90	26.10
通産2号橋	PC橋	0626 つのくま苑団地1号線	2.70	22.41
通産3号橋	PC橋	0627 つのくま苑団地2号線	4.30	38.70
通産4号橋	PC橋	0626 つのくま苑団地1号線	4.20	30.70
フシュウ橋	PC橋	0525 上花松・記念線	4.55	18.10
寺田橋	PC橋	6004 広ワラ・上花松線	3.69	16.97
上町橋	RC橋	7008 八田口・川崎線	2.40	31.20

※平成26年度末時点

市道上の橋りょう一覧（3/7）

名称	構造	所在地	延長(m)	面積(㎡)
森下橋	PC橋	0579 上チントク・ホウガ坪線	2.80	8.40
花田橋	PC橋	0588 石畑・提添線	6.25	31.25
二塚橋	PC橋	7008 八田口・川崎線	2.00	18.80
柵見橋	PC橋	7010 土井ノ内・ウドの上線	10.00	60.00
二反田橋	PC橋	7010 土井ノ内・ウドの上線	6.36	23.85
五反田橋	RC橋	0667 土井ノ内・長井原線	5.90	39.82
木ノ町橋	PC橋	0729 木ノ町線	2.00	11.00
通産5号橋	PC橋	0742 沖津・上津熊線	2.20	17.44
寺ノ下橋	RC橋	0743 宮ノ下・寺ノ下線	9.81	58.86
宮ノ下橋	RC橋	0743 宮ノ下・寺ノ下線	8.10	113.40
寺ノ下1号橋	RC橋	0743 宮ノ下・寺ノ下線	6.60	19.80
沖田橋	PC橋	2001 木京・渡地線	2.20	18.48
下専橋	PC橋	7012 大町・清水線	3.80	19.10
六反田橋	RC橋	2007 アザミ・ハブシ線	2.15	11.82
黒木橋	PC橋	2012 外堀・橋本線	2.10	4.20
水路33-1号橋	RC橋	2007 アザミ・ハブシ線	2.00	9.64
中川集会所橋	PC橋	2102 佛木・コイ線	2.30	11.27
三十田橋	PC橋	6009 立田・岩田線	2.15	14.40
岩田橋	RC橋	6009 立田・岩田線	4.15	28.22
架石橋	PC橋	7022 臼野・架ノ内線	6.88	27.65
津積橋	RC橋	7020 塚田・御所ヶ谷線	11.40	62.70
西津橋	PC橋	2088 大島・餅田線	2.10	14.07
中原橋	PC橋	2089 架ノ内・入用線	3.90	16.77
塚橋	PC橋	2095 沼尻線	3.03	12.36
小柳橋	RC橋	2115 五ノ坪・小柳線	2.80	13.80
大谷川1号橋	その他	2089 架ノ内・入用線	2.90	32.77
大谷川2号橋	PC橋	2089 架ノ内・入用線	3.20	11.52
五反田1号橋	RC橋	0580 森ノ上・井ノ本線	3.10	16.12
27号橋	PC橋	2517 日焼線	5.63	50.67
29号橋	PC橋	2526 寺畔団地1号線	3.90	23.40
瀬戸橋	RC橋	7015 瀬戸・シトキ田線	3.30	13.56
西寺畔橋	PC橋	7015 瀬戸・シトキ田線	3.30	13.20
西福富橋	PC橋	6010 前田・綿打線	3.30	19.93
方志丸橋	PC橋	2547 西福富団地2号線	2.30	13.57
桑ノ木橋	PC橋	6010 前田・綿打線	3.57	21.56
宝山橋	RC橋	2542 桑木・前田線	2.06	7.23
前田橋	RC橋	7017 佛木・前田線	2.40	9.55
流末橋	RC橋	2561 後川原・ハブシ線	2.50	9.25
東流末橋	PC橋	7024 鬼塚・下遊山線	2.34	26.32
上天流橋	RC橋	2575 平野・出向線	2.00	8.28
矢留橋	PC橋	7023 アサイ・寄合田線	2.00	8.20
村中橋	RC橋	2575 平野・出向線	2.10	7.64
裏ノ谷橋	PC橋	2629 池ノ上線	10.60	32.01
天中橋	PC橋	2592 中村・居屋敷線	2.95	8.55
田中橋	RC橋	2596 居屋敷・貴船線	2.10	7.18
松田橋	PC橋	6011 堂前・寄合田線	2.20	9.68
溝持橋	RC橋	2564 溝持・寺屋敷線	2.00	8.80
大橋	PC橋	7012 大町・清水線	2.70	14.58
中村橋	RC橋	2574 旧県道線	2.00	9.20
横田橋	RC橋	2574 旧県道線	2.10	12.08

※平成 26 年度末時点

市道上の橋りょう一覧（4/7）

名称	構造	所在地	延長(m)	面積(m ²)
無名橋	RC橋	1022 藁島岩崎6号線	7.10	89.88
用積橋	RC橋	2672 用積・川田線	4.45	19.80
川田2号橋	RC橋	2672 用積・川田線	4.25	18.91
大池橋	RC橋	2670 サコ・大池線	2.30	15.64
崎野橋	RC橋	0463 門樋町・泉中央三丁目線	6.00	58.20
石田橋	PC橋	0111 石田新開2号線	4.15	26.56
石田2号橋	PC橋	0110 石田新開1号線	3.59	9.04
石田3号橋	PC橋	0434 東大橋五丁目・新地線	4.90	34.25
石田4号橋	PC橋	0110 石田新開1号線	3.65	14.60
沖新地橋	PC橋	7028 出店・新地線	2.00	21.10
寅新池橋	PC橋	0100 沖新地・大新地2号線	2.10	10.54
大新地上橋	PC橋	0099 川淵・大新地線	2.20	14.85
大新地中橋	PC橋	0099 川淵・大新地線	2.40	16.17
大新地下橋	PC橋	0099 川淵・大新地線	3.00	21.06
大新地橋	PC橋	0099 川淵・大新地線	2.40	16.32
新地橋	PC橋	6019 大橋二丁目・寅新地線	2.30	13.57
住ノ江橋	PC橋	0056 大橋二丁目6号線	6.90	44.43
下正路下橋	PC橋	0057 大橋二丁目7号線	2.73	5.46
下正路中橋	PC橋	0054 大橋二丁目4号線	3.48	25.85
下正路上橋	PC橋	6019 大橋二丁目・寅新地線	3.17	20.54
御茶屋下橋	PC橋	0022 大橋1号線	3.36	21.77
御茶屋橋	PC橋	0068 大橋一丁目2号線	3.52	20.55
新開2号橋	PC橋	0077 中央一丁目2号線	2.67	7.07
坊主上橋	PC橋	0327 坊主・田辺線	2.05	15.92
南橋	PC橋	0141 大通・高畑線	2.22	12.72
橋本橋	PC橋	0331 欠塚・中線	2.00	12.72
溝落下橋	RC橋	0331 欠塚・中線	3.94	24.27
門樋上橋	PC橋	3019 サノ前・三角線	4.00	14.80
高杉1号橋	PC橋	0168 高杉・京都団地1号線	2.20	12.65
高杉2号橋	PC橋	0168 高杉・京都団地1号線	3.06	36.10
高杉3号橋	PC橋	0172 高杉・京都団地5号線	2.70	11.20
高杉4号橋	PC橋	0173 高杉・京都団地6号線	2.80	13.02
高杉5号橋	PC橋	0172 高杉・京都団地5号線	2.75	12.65
樋ノ口橋	PC橋	0253 行事4号線	2.68	14.20
花園橋	PC橋	0265 高杉第2団地7号線	2.60	25.74
御蔵下橋	PC橋	0243 行事一丁目17号線	7.97	32.03
行事東橋	PC橋	0239 行事一丁目13号線	2.80	11.62
中島下橋	PC橋	0016 大橋三丁目1号線	5.99	19.22
役中橋	PC橋	0308 第一緑光苑団地3号線	3.06	18.51
役下橋	PC橋	0307 第一緑光苑団地2号線	2.84	12.63
船垣橋	PC橋	0274 行事・長浜団地線	3.30	16.50
古辺野橋	PC橋	0007 大橋・波風線	5.25	18.90
中島上橋	PC橋	0007 大橋・波風線	5.13	22.72
市場通り橋	PC橋	0013 大橋中央1号線	3.30	23.76
西町1号橋	PC橋	0021 大橋三丁目6号線	3.42	20.34
西町2号橋	PC橋	0021 大橋三丁目6号線	2.26	12.88
西町3号橋	石橋	0014 大橋三丁目・門樋町線	3.30	5.94
上宮市橋	PC橋	0324 行事七丁目1号線	2.50	15.25
タイコ橋	PC橋	0316 行事8号線	4.20	21.42
五郎丸橋	PC橋	0006 宮市町・大橋2号線	2.00	10.40

※平成 26 年度末時点

市道上の橋りょう一覧（5/7）

名称	構造	所在地	延長(m)	面積(㎡)
高砂橋	PC橋	0006 宮市町・大橋2号線	2.30	13.57
イモジ橋	RC橋	2677 イモジ・西宮市三丁目線	3.00	19.50
北野橋	PC橋	2216 大橋・波風2号線	3.05	7.62
北山橋	鋼橋	2001 木京・渡地線	2.35	19.27
植田橋	PC橋	6007 門田・西宮市三丁目線	11.00	69.85
植野橋	PC橋	2516 京田・イモジ線	2.00	8.20
三鉢中橋	PC橋	0011 宮市町・神田線	4.53	25.00
三鉢下橋	PC橋	0012 大橋三丁目・神田線	3.26	22.88
新門橋	石橋	0033 門樋町2号線	4.40	16.80
錦橋	PC橋	0003 中央3号線	4.21	21.05
大正橋	石橋	0001 中央1号線	3.45	17.38
買添橋	PC橋	0346 行事四丁目7号線	2.80	7.84
早田橋	PC橋	0338 大橋一丁目16号線	2.40	5.04
役上1号橋	RC橋	0371 行事六丁目1号線	3.30	31.74
役上2号橋	RC橋	0271 行事六丁目2号線	3.58	22.66
石田新開1号橋	RC橋	0110 石田新開1号線	4.30	32.03
石田新開2号橋	RC橋	0377 石田新開7号線	4.40	26.62
第1新開橋	RC橋	0390 沖新地・寅新地線	4.77	23.99
大新地1号橋	PC橋	0088 住ノ江・土手ナシ線	2.45	13.72
水路28-1号橋	RC橋	0184 行橋三共苑団地3号線	2.00	12.00
博多橋	RC橋	0461 駅東通り線	2.00	33.18
一丁田橋	RC橋	3006 中ノ坪・一丁田線	3.65	16.79
鉄失橋	PC橋	3001 黒相・大通線	2.00	15.96
秋田橋	PC橋	3008 佛正2号線	2.10	17.43
羽根木橋	PC橋	3017 ユクマイ・佛正線	2.24	16.12
新興1号橋	PC橋	3013 羽根木団地4号線	5.00	24.40
新興2号橋	PC橋	3012 羽根木団地3号線	5.05	27.77
新興3号橋	PC橋	3011 羽根木団地2号線	5.50	24.64
西川橋	RC橋	3058 森水・下田線	6.80	35.36
小園橋	PC橋	3066 田・辻畑線	3.90	24.57
三共1号橋	PC橋	3066 田・辻畑線	2.90	21.62
三共2号橋	PC橋	3043 三共苑第2団地6号線	2.75	20.00
三共3号橋	PC橋	3043 三共苑第2団地6号線	2.20	20.02
三共4号橋	PC橋	3048 三共苑第2団地11号線	2.00	12.16
三共5号橋	PC橋	3049 三共苑第2団地12号線	2.20	15.20
三共6号橋	PC橋	3050 三共苑第2団地13号線	2.00	19.49
三共7号橋	PC橋	3051 三共苑第2団地14号線	2.00	21.12
三共8号橋	PC橋	3044 三共苑第2団地7号線	2.20	23.54
三共9号橋	PC橋	3045 三共苑第2団地8号線	2.20	4.60
三共10号橋	PC橋	3043 三共苑第2団地6号線	2.20	59.16
荒神橋	RC橋	3053 笹原・山ノハナ線	2.30	11.50
今尾橋	PC橋	6010 前田・綿打線	2.00	25.81
平島橋	PC橋	6010 前田・綿打線	4.00	24.20
宮ノ内橋	PC橋	3137 コミトリ・ウリウ線	2.00	10.00
西池橋	RC橋	3110 長者原・貴船線	4.64	23.20
下五反田橋	PC橋	3145 葦干・川原線	2.10	18.16
上五反田橋	PC橋	3148 葦干2号線	2.36	6.84
水神橋	PC橋	3157 居屋敷・岩畑線	7.85	31.63
川原橋	PC橋	3145 葦干・川原線	3.80	24.58
帯田橋	PC橋	6015 野々中・石仏線	6.90	35.19

※平成26年度末時点

市道上の橋りょう一覧（6/7）

名称	構造	所在地	延長(m)	面積(m ²)
野々丸橋	PC橋	3167 四反田・藤木線	4.00	20.00
溝田橋	PC橋	2162 神田・清水線	2.20	13.20
白石橋	鋼橋	3152 石仏・川原線	5.00	12.15
平引橋	RC橋	6013 広畑・西前線	9.00	48.96
平方橋	その他	6013 広畑・西前線	4.05	35.43
四野田橋	PC橋	3164 平引・藤木線	4.70	18.80
福丸橋	RC橋	3164 平引・藤木線	4.90	19.60
竹並橋	PC橋	7026 池ノ下・マカリ線	4.50	26.10
大野井橋	RC橋	2665 京田・追田線	2.40	10.32
西泉団地1号橋	PC橋	3297 西泉団地・3号線	2.40	21.72
文久2号橋	PC橋	1615 文久団地1号線	5.85	32.17
文久3号橋	PC橋	1615 文久団地1号線	5.90	32.45
文久5号橋	PC橋	1518 文久8号線	3.95	19.35
文久6号橋	PC橋	1518 文久8号線	3.70	24.05
文久7号橋	PC橋	1518 文久8号線	2.75	13.75
文久8号橋	PC橋	1518 文久8号線	3.50	19.25
文久9号橋	PC橋	7031 文久・上新地線	3.10	31.62
文久10号橋	PC橋	1513 文久12号線	2.60	6.37
文久11号橋	PC橋	1519 文久9号線	2.30	5.06
水路72-1号橋	RC橋	7038 陣山・西線	2.94	13.64
農免1号橋	RC橋	1521 文久・村ノ上線	2.70	14.31
農免2号橋	RC橋	1521 文久・村ノ上線	3.65	22.70
熊野橋	RC橋	7038 陣山・西線	2.00	11.80
西・今井団地1号橋	その他	1568 西・今井団地線	2.40	11.04
永新池3号橋	PC橋	1648 永新地・唐戸線	2.05	12.91
今井団地1号橋	PC橋	1561 今井団地5号線	2.08	17.78
今井団地2号橋	PC橋	1560 今井団地6号線	2.05	7.38
今井団地3号橋	PC橋	1559 今井団地7号線	2.20	8.80
観音寺橋	PC橋	1599 守田・市場線	2.00	7.40
金八橋	PC橋	1593 八石フケ・秋吉線	2.74	15.01
法田井橋	PC橋	6021 文久・稲ハタ線	2.33	33.38
日吉橋	PC橋	1613 安三郎・戸殿森線	5.35	24.07
大助橋	PC橋	1611 土井ノ内線	2.00	6.40
宮下橋	PC橋	1527 宮下川線	10.68	29.90
元永橋	RC橋	1533 下・榎園線	2.60	24.18
肥田橋	RC橋	1530 元永・下線	4.90	8.86
後橋	PC橋	7032 コシビラ・新開線	2.00	12.54
蓮池橋	RC橋	1537 ヤシキ・蓮池線	2.30	16.10
上川原橋	RC橋	1540 向ヒ・上川原線	2.00	12.80
榎木橋	PC橋	1640 榎園・村後線	2.40	24.96
宮畑橋	PC橋	1640 榎園・村後線	2.67	11.61
水路95-1号橋	RC橋	1538 ヤシキ・上川原線	2.00	6.96
丸山橋	PC橋	3735 原口・作り山線	2.40	6.28
水町橋	RC橋	3513 陣山・ミソノ線	4.03	12.09
カモ浦橋	PC橋	1640 榎園・村後線	2.00	8.00
村後橋	RC橋	3520 カジヤシキ・カモウラ線	2.80	10.08
貴布弥上橋	PC橋	3521 古川・村前線	2.07	6.35
貴布弥下橋	RC橋	3514 カジヤシキ線	2.30	10.18
石佛橋	PC橋	3532 県道石佛線	2.32	10.44
吉武1号橋	PC橋	3553 新田原駅前団地2号線	3.90	23.79

※平成 26 年度末時点

市道上の橋りょう一覧（7/7）

名称	構造	所在地	延長(m)	面積(m ²)
吉武2号橋	PC橋	3557 新田原駅前団地6号線	3.90	17.16
吉武3号橋	PC橋	3553 新田原駅前団地2号線	3.90	23.79
長野間橋	PC橋	7034 石佛・一丁田原線	3.00	13.50
庄ヶ迫橋	PC橋	3727 赤迫・西尾線	3.40	9.52
大塚1号橋	PC橋	3590 九衛門・前田線	4.00	28.92
大塚2号橋	PC橋	3583 七曲・帯田線	4.82	16.96
出の上橋	RC橋	3574 キド・長ノ間線	5.85	24.57
御手洗橋	PC橋	3590 九衛門・前田線	4.30	12.47
尾崎橋	RC橋	3604 クブノ木・小路線	4.85	10.80
西尾橋	RC橋	3621 畠田・大堤線	5.35	19.19
コモ池橋	PC橋	7034 石佛・一丁田原線	2.94	20.13
道南橋	RC橋	3675 出口・一丁田原線	2.20	8.03
松原寺橋	PC橋	3721 維尻・御堂線	2.50	11.00
松原橋	PC橋	3719 北代・正法寺線	2.40	11.71
高畑橋	PC橋	3718 東・江湊線	2.80	9.24
郡塚橋	PC橋	6016 道場寺・袋迫線	3.40	13.77
又江1号橋	RC橋	3637 城尾・又江線	2.00	5.04
又江2号橋	RC橋	3637 城尾・又江線	2.00	4.00
フケ1号橋	RC橋	2587 宮ノ下・フケ線	2.04	24.56
新地1号橋	PC橋	0432 新地7号線	4.50	73.66
石田新開1号橋	PC橋	0109 石田新開6号線	3.46	13.87
平島2号橋	PC橋	3282 東泉二丁目・平島線	2.60	11.18
戸井口橋	RC橋	3288 泉18号線	2.10	36.96
小豆1号橋	PC橋	3311 小豆3号線	2.50	16.75
水路27-1号橋	RC橋	0439JR日豊本線西側道1号線	2.70	16.60
水路107-1号橋	RC橋	0458JR日豊本線東側道1号線	2.40	22.80
水路108-1号橋	RC橋	0458JR日豊本線東側道1号線	9.20	88.32
水路109-1号橋	RC橋	0458JR日豊本線東側道1号線	2.30	14.30
水路110-1号橋	RC橋	0458JR日豊本線東側道1号線	2.30	22.31
水路27-2号橋	RC橋	0458JR日豊本線東側道1号線	3.60	21.20
大橋1号橋	RC橋	0013 大橋中央1号線	3.30	22.11
葦園1号橋	RC橋	0583 勝丸・葦園線	2.90	13.00
前田橋	RC橋	3590 九衛門・前田線	4.40	24.94
江尻川歩道橋	PC橋	3313 泉中央団地1号線	12.60	25.20
北泉橋	RC橋	3336 北泉五丁目1号線	3.50	56.35
須賀里橋	RC橋	0197 西宮市四丁目2号線	26.98	108.18
猪熊橋	RC橋	0316 行事8号線	34.62	242.34
真先橋	RC橋	7005 貝・樋田線	23.27	74.69
焼米畦橋	RC橋	7006 山ノ下・上延永線	22.35	113.58
小犬丸橋	RC橋	0331 欠塚・中線	20.31	122.06
浦川橋	RC橋	6018 行事四丁目・久悦線	14.60	114.90
稗田橋	RC橋	2077 下方・立田線	32.30	129.20
アザミ橋	PC橋	2005 六反田・下車線	2.50	29.87
陣山橋	PC橋	7038 陣山・西線	2.95	21.74
常盤橋	PC橋	0387 南大橋一丁目・葦島線	54.18	541.80
入覚橋	PC橋	0879 高来・入覚線	5.75	20.29
宮下橋	PC橋	0879 高来・入覚線	3.50	15.75
入覚2号橋	PC橋	0879 高来・入覚線	2.50	20.95
合計			2,865.46	17,765.49

※平成 26 年度末時点

その他橋りょう一覧

名称	構造	所在地	延長(m)	面積(㎡)
鋤延橋	PC橋	10-01 農免農道 01 号線	12.50	94.70
無名橋	PC橋	10-04 農免農道 04 号線	11.00	60.50
御茶屋原橋	RC橋	2037 長木 1 号線	5.40	21.30
無名橋	PC橋	1-1 県営基幹農道	33.00	181.50
沓尾漁港 橋梁	RC橋	大字沓尾地先	440.00	3,395.50
合 計			501.9	3,753.5

※平成 26 年度末時点

⑤ 水道(管きょ)

水道(管きょ) 一覧

種類	規格	実延長(m)
導水管	300mm 未満	3,318.5
	300~500mm 未満	39.0
	500~1000mm 未満	1,955.9
	1000~1500mm 未満	56.7
	小 計	5,370.1
送水管	300mm 未満	1.4
	300~500mm 未満	328.4
	小 計	329.8
配水管	50mm 以下	52,387.2
	75mm 以下	80,257.3
	100mm 以下	58,260.6
	125mm 以下	980.0
	150mm 以下	42,036.6
	200mm 以下	12,599.0
	250mm 以下	9,479.0
	300mm 以下	7,072.6
	350mm 以下	7,707.3
	400mm 以下	8,518.8
	500mm 以下	520.0
	700mm 以下	446.0
	800mm 以下	74.6
	1350mm 以下	39.5
小 計	280,378.5	
合 計		286,078.4

※平成 26 年度末時点

⑥ 下水道（管きょ）

下水道（管きょ）一覧

管種	コンクリート管	陶管	塩ビ管	その他	合計
実延長(m)	7,310	410	66,914	748	75,382

※平成 26 年度末時点

2 更新費用の推計方法

(1) 推計条件

本市が保有する公共建築物及びインフラ資産について、将来の建て替え及び大規模改修に必要な費用を推計しました。

推計の条件は、総務省が推奨している「一般財団法人地域総合整備財団〈ふるさと財団〉における「公共施設等更新費用試算ソフト」の条件及び「統一的な基準による地方公会計マニュアル」（総務省 2015（平成 27）年 1 月）の考え方を参考としました。

① 共通

(ア) 対象とする施設

- 公共建築物

本市が所有する建築物（プールを含む）を対象としています。借り受けて使用している施設は含みません。

- 土木インフラ資産

本市が所有する施設を対象としています。

(イ) 推定期間

2017（平成 29）年度を起算年度として 2056（平成 68）年度までの 40 年間としました。

(ウ) 財源

更新費用の推計は、事業費ベースで算出しており、国庫補助金、各種使用料徴収、地方債等は考慮していません。そのため将来の更新時点における一般財源ベースの財政負担とは必ずしも一致しません。

② 公共建築物

(ア) 更新の考え方

建築物の耐用年数を満了時点で建て替え、耐用年数の半分の時点（端数切捨て）で大規模改修⁷を見込んでいます。建て替えは同種・同規模に建替えるものとしています。また、建築物の耐用年数は、「資産評価及び固定資産台帳整備の手引き」（総務省 2015（平成 27）年 1 月）に基づいて算出しました。

(イ) 建て替え・大規模改修費用

建て替え費用は、新築費用に既存建築物の解体費用を加算しています。

新築費用は、再調達価額（1984（昭和 59）年度以前に取得）または取得価額（1985（昭和 60）年度以降に取得）をもとに算出しました。解体費用は、「公共施設等の解体撤去事業に関する調査結果」（総務省 2013（平成 25）年 12 月）を参考にしつつ延床面積 1m²あたり 28,000 円を計上しました。

大規模改修の費用は、建て替えに必要な新築費用の 2 分の 1 相当を設定しました。

原則として 2017（平成 29）年度より前に推計された建て替え費用及び大規模改修費用は、推計期間内に均等配分して繰延べています。ただし、建て替えを繰延べした施設については、大規模改修費用の繰延べは行っていません。

③ インフラ資産

(ア) 更新の考え方

道路、橋りょう、上水道（管きょ）、下水道（管きょ）の更新条件は、次のとおりです。

更新単価は、総務省が推奨する「公共施設等更新費用試算ソフト」（一般財団法人地域総合整備財団〈ふるさと財団〉）に掲げられた単価を採用して再調達価額を算定しています。

- 道路

供用開始年月日をもって取得年月日としました。

- 橋りょう

架設年次をもって取得年度としました。架設年次が不明の橋については、2017（平成 29）年度から 10 年間に建替え費用を均等配分しました。

- 上水道（管きょ）

埋設年次をもって取得年度としました。

- 下水道（管きょ）

敷設年度をもって取得年度としました。

⁷ 大規模改修：建物の基本性能を維持するために定期的（10～30 年毎）に実施される修繕。通常、部分的な修繕ではなく、建物の躯体や空調設備、給排水設備、屋上、壁面等について建物全体にわたる修繕を指す場合が多い。

インフラ資産の更新条件

種別		更新単価	更新年数
道路舗装	市道、農道、林道	4,700 円/㎡	15 年
橋りょう	鋼橋	500,000 円/㎡	60 年
	その他	425,000 円/㎡	
上水道 (管きよ)	導水管	管径 300mm 未満	100,000 円/m
		管径 300~500mm 未満	114,000 円/m
		管径 500~1000mm 未満	161,000 円/m
		管径 1000~1500mm 未満	345,000 円/m
	送水管	管径 300mm 未満	100,000 円/m
		管径 300~500mm 未満	114,000 円/m
	配水管	管径 50mm 以下	97,000 円/m
		管径 75mm 以下	97,000 円/m
		管径 100mm 以下	97,000 円/m
		管径 125mm 以下	97,000 円/m
		管径 150mm 以下	97,000 円/m
		管径 200mm 以下	100,000 円/m
		管径 250mm 以下	103,000 円/m
		管径 300mm 以下	106,000 円/m
		管径 350mm 以下	111,000 円/m
		管径 400mm 以下	116,000 円/m
		管径 500mm 以下	128,000 円/m
		管径 700mm 以下	158,000 円/m
管径 800mm 以下	178,000 円/m		
管径 1350mm 以下	628,000 円/m		
下水道 (管きよ)		124,000 円/m	50 年



行橋市公共施設等総合管理計画

発行年月 平成 29 年 3 月

発 行 福岡県行橋市（総合政策課）

〒824-8601 福岡県行橋市中央一丁目 1 番 1 号

TEL 0930-25-1111（代表）

FAX 0930-25-0299

E-mail sougouseisaku@city.yukuhashi.lg.jp